

平成 26 年度

事業報告並びに決算報告書



北海道ラグビーフットボール協会

目 次

○平成26年度 事業報告	1
I 登 錄 状 況	1
II 理事会等の開催状況・各委員会活動報告	2
第69回国民体育大会北海道選手団	31
平成26年度 大学ベストファイフティーン	32
III 試合並びに大会結果	33
A 北海道協会主管による大会	33
B 中央大会、本大会及び他県にわたる試合	54
○平成26年度 会計決算書	61
◎ 収 入 の 部	62
◎ 支 出 の 部	64
◎ 会計監査報告書	87

北海道ラグビーフットボール協会

平成26年度 事業報告

I 登録状況

(1) 会員数

平成27年3月31日現在

チーム種別	チーム数	前年比	部員数	前年比
スクール	14	0	434	▲29
中学校	3	0	98	6
高等学校	43	▲2	917	▲33
高等専門学校	2	0	49	▲3
大学	21	▲1	600	3
社会人	9	▲1	234	▲24
学生クラブ	1	0	3	1
大学OB	1	0	22	▲2
高校OB	2	0	21	▲2
一般クラブ	34	0	1,154	29
ジュニアクラブ	0	0	0	0
女子クラブ	2	0	20	▲2
合計	132	▲4	3,552	▲56

(2) チーム数

チーム種別 支部	スクール		中学		高校		高専		大学		社会人		学生クラブ		大学OB		高校OB		一般クラブ		ジュニアクラブ		女子クラブ		計	
	チ ム 数	前 年 比 数																								
函館	1	0	1	0	9	0	1	0	1	▲1	1	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0	19	▲1
胆振	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	30
小樽	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	70
札幌	5	0	2	0	11	0	0	0	12	0	4	0	0	0	1	0	1	0	11	▲1	0	0	2	0	49	▲1
空知	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	50
富良野	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	20
旭川	1	0	0	0	4	0	1	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	130
十勝	1	0	0	0	3	▲2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	8▲2
根釧	1	0	0	0	4	0	0	0	2	0	1	▲1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	11▲1
北見	3	0	0	0	6	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	151
計	14	0	3	0	43	▲2	2	0	21	▲1	9	▲1	1	0	1	0	2	0	34	0	0	0	2	0	132	▲4

II 理事会等の開催状況

◎ 第1回評議員会

平成26年4月27日（日） アスティー45ビル会議室

議題

- 平成25年度事業報告について
- 平成25年度決算報告について
- 平成26年度事業計画について
- 平成26年度事業予算について

◎ 第1回理事会

平成27年1月25日（日） 開発工営社会議室

議題

- 平成26年度事業報告について
- 平成26年度会計状況について
- 平成27年度事業予算について
- 平成27年度事業計画について
- 理事長選出に係る規約改正について
- その他

◎ 第2回理事会

平成27年3月22日（日） 開発工営社会議室

議題

- 平成26年度事業報告について
- 平成26年度会計状況について
- 平成27年度事業予算について
- 平成27年度事業計画について
- その他

◎ 第3回理事会

平成27年4月26日（日） 開発工営社会議室

議題

- 平成26年度事業報告について
- 平成26年度会計状況について
- 平成27年度事業予算について
- 平成27年度事業計画について
- その他

平成26年度 各委員会活動報告書

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
セレクション・ミッティ・強化委員会	<p><道外大会></p> <p>1 第51回東日本都道県対抗大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：7月18日～21日 ・会場：岩手県八幡平市鬼清水グランド、北海道は、開催県、東京都と同様に予選会へは出場せず、本大会へ出場する。 ・宿泊先：岩手県八幡平市安比高原 ・7/19 vs 東京都 8 - 31 Bブロック決勝へ ・7/21 vs 宮城県 81 - 0 Bブロック 優勝 <p>2 第69回国民体育大会 長崎国体(セブンズ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：10月18日～21日 ・会場：東京都武蔵野市陸上競技場 ・10/19 vs 熊本県 19 - 22 vs 秋田県 0 - 35 vs 千葉県 7 - 43 <p><セレコン・強化・普及へ向けた事業></p> <p>1 セレコン強化委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：4月19日(土) 14:00～ ・会場：JRタワーオフィス会議室 <p>2 セブンズミーティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日程：6月1日(日) 11:00～ ・会場：定山渓BBクラブハウス 	<p><成果></p> <p>ブロック分け戦は、昨年同様トップイーストのチームで構成された東京代表と対戦した。敗れはしたが、セット、プレークダウンとも東京に対抗できた。</p> <p>Bブロック決勝では、宮城代表との対戦。</p> <p>セット、プレークダウン全てで圧倒し、0点に抑え、昨年に続きBブロック優勝は大きな成果であった。</p> <p><課題></p> <p>ブロック分け戦で闘う経験豊かな東京都チームレベルにいかに勝利するかが大きな課題である。</p> <p><成果></p> <p>成年の国体はセブンズに変わり2年目を迎えた。初戦の熊本に敗れリズムに乗れず3戦全敗で終わり残念な結果であった。</p> <p><課題></p> <p>勝機は十分にあるがセブンズで勝利するためには、選手全員が瞬時に変わる環境変化を把握して対応する、精度が必要である又、7分間の時間の使い方についても工夫と理解度の落とし込みが必要である。</p> <p><成果></p> <p>社会人、大学のカテゴリーと函館、北見、帯広など地域からメンバーが集まり事業計画について話ができたこと。</p> <p><課題></p> <p>継続的に会議が必要な点が課題である。</p> <p><成果></p> <p>7人制での戦い方の基本と15人制からセブンズ候補選手をセレクトする考え方を統一できた点。</p> <p><課題></p>

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
セレクション・コマッティ・強化委員会	3 代表候補セレクションマッチ開催 ・日程：6月1日(日)13:00KO ・会場：定山渓B B ラグビー場	<p><成果></p> <p>今年は、35分ハーフ3セットを実施。大卒新人などの有力選手が参加したことが大きな成果であった。</p> <p><課題></p> <p>7人制、15人制の選手発掘と強化に向けた代表戦の実践経験が不足している点が課題である。</p>
	4 7S強化：ピリカモシリ ・日程：7月12日(土) 13日(日) ・会場：定山渓B B ラグビー場	<p><成果></p> <p>国体へ向けたセブンズでのゲーム経験が大きな成果であった。</p> <p><課題></p> <p>7月には北海道選手権はじめ多くの大会が集中し選手やチームに大きな負担がかかっている点が課題である。</p>
	5 7'S国体直前合宿 ・日程：10月4日13:00 ・会場：定山渓B B クラブハウス 定山渓B B ラグビー場	<p><成果></p> <p>7'Sセッションでの北海道代表候補選手が集まり基本的な戦略を確認落とし込みが出来た点、ゲームにより国体へ向けた最終準備が出来た点は大きな成果であった。</p> <p><課題></p> <p>道内選手のみでの強化には限界がある。高いレベルでの実践を数多く経験する機会が必要である。</p>
レフリー委員会	1 レフリー・ソサエティ会議 ① 4月20日(日) ② 6月27日(金) ③ 1月17日(土) 2 レフリー研修会 ① 6月14日・15日(札幌) 大学春期試合等 ② 6月27日～29日、7月6日 (野幌他) 北海道選手権大会 ③ 7月27日～30日(江別他) 北海道高校選抜大会 ④ 1月17日～18日 (NTTセミナーセンター) セブンズレフリング研修等	<ul style="list-style-type: none"> ・シーズン終了後に成果や課題等の検証を兼ねた委員会の開催を実施した。 ・第1回研修を従来の帯広での国体予選から札幌での大学の練習試合に変更して行い研修会として有効であったが、多くのレフリーが参加できるような開催時期を検討する必要がある。 ・研修会全般としては、概ね目的を達成して終えることが出来た。 ・1月には、各支部委員対象にセブンス研修会を実施した。

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
レフリーコミッショナリー委員会	3 C級レフリー認定講習会 各地区毎に実施。 4 ルール伝達講習会 5 各種大会へのレフリー派遣 大会主管理事からの要請に基づき必要人数を派遣。 6 その他 • 主なレフリーのスケジュール確認と調整。 • ゲーム担当後のレフリーミーティングの実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・継続したレフリー評価のため強化レフリーに対してアセッサーを割り付けすることとした。また、その評価表を集約し他のアセッサーが参考にできるような体制を整えた。しかし、今年度もアセッサーの割り付けに困難があった。アセッサーの育成や観点別のアセスメント等の課題がある。 ・北海道選手権大会の監督主将会議の時にルーリング通達の説明を行った。 ・大会によっては試合数が多いこと、かつ、平日に実施されることからレフリー割当が困難な大会がある。(実働B級レフリーや若手レフリーの絶対数不足、北海道内トップレフリーの高齢化) ※極めて大きな課題である。 ・昨年度はB級資格取得講習会へ候補者を出すことができなかったが、今年度3名の候補者を出すことができ、全員資格取得した。 ・資質のある有望レフリーの発掘育成が課題である。
競技委員会	第44回北海道ラグビーフットボール選手権大会 平成26年6月27日(金)・28日(土)・29日(日)・7月6日(日) 北海道立野幌総合運動公園ラグビー場 2面 千歳青葉公園ラグビー場 苫小牧市緑ヶ丘公園ラグビー場 バーバリアンズ定山渓グラウンド 2面 札幌医大グラウンド	<p><成果></p> <p>1. 競技面</p> <p>Aブロック決勝は昨年に続き6年連続北海道バーバリアンズAと北海道大学の対戦となった。試合展開は、前半から北海道バーバリアンズが地力を発揮し試合の主导権を握りノートライの31対6でリードし、後半北海道大学が2トライを返したが64対20で6年連続18回目の優勝を果たした。進境著しい札幌大学と注目のJR北海道戦は前半26対7とリードした札幌大学が後半追い上げを見せたJR北海道を抑え43対21で札幌大学が勝利した。道都大学とCOLLEGE・HOUSE戦は道都大学が52対12と快勝した。注目の準決勝、北海道大学と札幌大学戦は終始北海道大学が試合をリードし43対19で札幌大学を退けた。</p> <p>Bブロック決勝は前年Cブロック優勝しチーム力が充実している北菱クラブAとAブロックの常連上磯ラガーが15対15で両者優勝し上磯クラブはAブロックに復帰し北菱クラブAは念願のAブロック入りを果たした。</p> <p>Cブロックの決勝は小樽商科大学と闘球会となり、17対14(前半7対7後半10対7)の大接戦の末、小樽商</p>

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
競 技 委 員 会		<p>科大学が闘球会を下し優勝した。大学では北海道大学、札幌大学、道都大学が充実したチーム力で安定した戦いぶりを見せ、Cブロック小樽商科大学、Eブロックで優勝の旭川医科大学は地元の医療系専門学校とのコンバインドで組み優勝した。北海道医療大学、教育大学岩見沢校とともに今後の活躍を期待したい。クラブは地域を代表する函館支部の上磯ラガー、札幌支部のサッテツ、札幌クラブ他、十勝支部のとかチエスA、B、北見支部の OKHOTSK・BLUE A、B、旭川支部の旭川ラガー、龍谷O B、釧根支部の中標津ラガー、釧路ラガー、空知支部の岩見沢ラガー、新たなブラックダイヤモンズに活躍を期待したい。今年度の注目はC、Bブロックと2年連続優勝した北菱クラブAが来年度Aブロックにおいてどのような戦いをするか期待される。</p> <p>2. 運営面</p> <p>① グラウンド運営</p> <p>今年度は野幌グラウンドの状態が良くなく、1回戦、準決勝は一面、決勝は2面を使用する状況であり、札幌医大グラウンドを新たに加え、スタッフを配置しテント設営等については定山渓Gから運搬し設置し運営に当たった。</p> <p>② ブロック別グラウンド割り付け効果</p> <p>新たに札医大が加わったが各委員会の協力でブロック別に割り付けることが出来運営は円滑に行われた。</p> <p>③ 安全対策</p> <p>今年度は旭川医大の医師の積極的協力で全グラウンドに配置することが出来、大きな事故なく終了した。</p> <p>④ 芝生グラウンドにおいての全試合実施</p> <p>野幌グラウンドの養生状態が悪く7月になるまで一面しか使用できなかつたが札幌医大グラウンドを使用することで辛うじて全試合芝生のグラウンドで実施できた。</p> <p>＜課題と対策＞</p> <p>① チーム数</p> <p>今年度の参加チームは昨年度より1チーム少ない68チームで大会を実施した。5年前83チーム、4年前77チーム、3年前74チーム、2年前71チーム、昨年69チームとチーム登録人数の減少に伴い5年前から比較すると15チーム減となり相変わらず減少傾向が続いている。ここ数年チームの合併・合同化を行い競技力の強化及び組織化を図るチームが増加している。オホー</p>

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
競技委員会		<p>ツク・ブルー、とかチエスをはじめとしてその成果が確実に上がりつつあるよう見える。ジュニアを始めとして高校、大学の卒業生の組織化もお願いしたい。できるだけ年齢、技術に合わせたチームの組織化で今後の競技人口の増加につなげていただきたい。</p> <p>② 日程 今年度も各委員会の事業を鑑み、大会スケジュールを6月末から7月第1週末を準決勝、決勝で実施した。</p> <p>③ グラウンド 今年度は野幌グラウンドの養生が悪く1回戦、2回戦は1面しか使えず決勝戦のみ2面を使用した。それに従い大会本部を1回戦、2回戦は定山渓グラウンド、決勝戦は野幌グラウンドとし実施した。苫小牧会場は一面しか確保できなかったのでグラウンド不足となり、札幌医大グラウンドを確保した。大会終了後も（財）体文協本部、野幌事務所、北海道建設部と交渉・協議を継続しているが北海道の予算措置が少額であり、来年度も今年度と同様のグラウンド状況になる可能性がある。</p> <p>④ 競技時間 社会人、クラブ、大学と本州での大会の競技時間が40分である以上、A、Bの上位ブロックの競技力向上のためにも試合時間を40分にすべきである。上位ブロックと下位ブロックとの競技時間の見直しを来年度は行いたい。</p> <p>⑤ 帯同レフリー制度及び1試合2レフリーのは是正 レフリーの高齢化も進行してきている。大学委員会、社会人クラブ委員会にレフリー養成をお願いしたい。ここ数年、帯同レフリーの義務付けについて各チームの意識が薄れてきている傾向がみられる。各支部において4月、5月時点のチーム登録の際にレフリーの帯同化の説明をお願いしたい。</p> <p>⑥ 安全対策 5年前の苫小牧会場での頸損事故発生の反省を踏まえ、ここ数年のチーム登録時の安全講習会の開催により事故予防に対する関心は高くなっているが、高校時からマウスガード装着の義務化等マウスガード装着の向上につながる対策が必要とされている。</p> <p>⑦ 事業費 総予算は昨年度より1チーム減の過去最低のチーム数68チームとなり大会参加料204万円、広告費15万円で総予算219万円と昨年に続き過去最低となつた。</p>

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
競技委員会		<p>経費を抑えたが老朽化したパイプいす、テーブルを新たに購入した結果、北海道協会事業費として回す金額は、1.007.962円となった。</p> <p>22年度事業決算・予算 $1.484.359 / 2.630.000 = 1.145.641$ 23年度事業決算・予算 $1.239.900 / 2.459.580 = 1.219.680$ 24年度事業決算・予算 $1.115.261 / 2.339.580 = 1.224.319$ 25年度事業決算・予算 $1.127.877 / 2.220.000 = 1.092.123$ 26年度事業決算・予算 $1.182.524 / 2.190.000 = 1.007.476$</p>
安全対策委員会 コーサエティ	<p>安全対策委員会 安全対策推進講習会開催報告 2014テーマ 医学関連 ・ラックにおける受傷事故と安全対策 技術関連 ・ラックにおける指導法の工夫 各支部開催日程及び受講者数 (196名) 3月16日 十勝 講師 増谷龍大氏 新智文氏 受講者数17名 4月5日 根釧 講師 増谷和夫氏 受講者数17名 4月6日 函館 講師 三浦栄司氏 額賀康之氏 受講者数34名 4月6日 旭川・富良野・空知 講師 増谷龍大氏 林憲雄氏 受講者数11名 4月13日 北見 講師 山内博史氏 萩原尚志氏 受講者数15名 4月13日 札幌・胆振・小樽 講師 長谷川竜介氏 森和久氏・道家氏 受講者数102名 セーフティーアシスタント資格取得講習会 安全対策講習時に SA 講習会指導書通り5回実施した。 登録者252名 (認定書及び手帳配布4年間有効)</p>	<p>■安全対策推進講習会について 受講者アンケート集計</p> <p>1. 安全推進講習会の是非について 毎年必要である。 81% 2年に1回で必要 19%</p> <p>2. 医学講習関連の内容について 分かりやすかった 95.3% 少し難しい 4.7%</p> <p>3. 技術関連の内容について 分かりやすかった 95.9% 少し難しい 4.1%</p> <p>4. 講習会後の「ラック」に関する安全への意識について かなり意識したい 91.1% 適度に意識する 8.9%</p> <p>※例年日本協会が作成したDVDが配布されたが、今年度はなかったせいか、チーム内伝達講習報告書の提出が低かった。 受講者アンケートでは、81%の人が講習会が必要であると回答しており必要性は理解してもらっている。</p> <p>※セーフティーアシスタント資格取得登録事業について セーフティーアシスタントの制度が変更になった事から安全対策推進講習会と合わせて実施。 登録者252名は、北海道協会の試合に於いてSAについて整備された体制にある。</p>

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
安全対策委員会・コーチソサエティ	新スタートコーチ資格取得講習会 期日 平成26年5月25日(日) 会場 帯広市 帯広工業高校 講師 増谷和夫氏 受講生 16名	受講生の大半が大学生で内20歳未満が7名でした。 帯広畜産大学・東京農業大学オホーツク校・教育大旭川校・北見工業大学・札幌少年ラグビースクール・帯広少年ラグビースクール(女性)・十勝クラシック・高校教員
	プラスアップ講習会(資格更新事業) 期日 平成26年7月13日(日) 会場 帯広市 帯広市消防本部 講師 増谷和夫氏 コーチの役割・2014安全推進 講師 福田 茂氏 帯広市消防本部総務課長 AEDによる電気的除細動使用 実技及び講義応急処置の原則 期日 平成27年1月17日(日) 4月4日(土) 会場 札幌AKKビル2階会議室 講師 平間康充氏 札幌国際大非常勤講師 メンタルトレーニングについて 講師 小松信隆氏 管理栄養士 スポーツの栄養について 講師 増谷和夫氏 2015安全対策推進講習会	講習会の開催要請あり、実施していますが必要な人数15名には満たない状況です。 更新者は、札幌・釧路・帯広の方でした。 尚、普通救命修了証を取得しました。 札幌支部の研修会と連携して実施
	H26年度指定強化指導者研修(道体協) (プラスアップ講習会) 期日 平成26年11月30日(日) 会場 道立総合体育センター北海 きたえ～る2階講堂視聴覚室 ・大研修室 対象 加盟団体指定指導者 講師 秋本(大曾)小百合氏 元スピードスケート選手 オリンピック選手	講演 指導者となり選手をオリンピックへ送り出す迄の経緯や自身の選手指導者両方の立場から見たオリンピック経験 希望者は、プラスアップ講習兼ねて参加 受講者 5名
	タッклープロジェクト事業 中学生タッклープロジェクト 期日 平成26年5月5日 会場 函館ラサールG 中学校選抜練習会において 期日 平成26年7月6日	対象者 北海道在籍中学生チーム(80名) 函館ラサール中学生 45名 立命館慶祥中学校 22名 北嶺中学校 13名

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
安全対策委員会 ・ コーチソサエティー	<p>会場 根崎G 中学校夏季大会後実施 期日 平成26年9月7日 会場 月寒G 中学校大会後実施 指導者 下招次郎 氏(北嶺) 松田祐一 氏(立命館慶祥) 宇佐見純平 氏(函館ラサール) 高校については、10支部の各高校委員に「2013DVD」を配布済みであり各自チームで継続的に取り組む。</p> <p>コーチ招聘事業 期日 平成26年6月14日～15日 会場 北海道バーバリアンズ定山渓G 対象 中学生1年生～3年生 招聘コーチ 関東強化コーチ梅月信吾 氏</p> <p>コーチ委員会 第1回コーチ委員会 平成26年12月6日(日) 会場ホテル 橋本 A 報告事項 B 協議事項 C その他</p>	<p>今年度は、3回実施し指導内容は「タックルプロジェクト2013」DVDの内容を踏まえて指導した。各チーム自校においても継続して取り組む事を確認した。</p> <p>■最近の事例では、ボールキャリアーが、アングルを変え角度を付けて走り込むプレーや、裏を通すパスが多くタックルプレーヤーは、体幹はまっすぐに保ち、目を開けて、頭を下げないでターゲットにコンタクトするトレーニングをお願いしたい。</p> <p>広い北海道において各チームが、統一意識を持った指導体制の確立を目指し、U15を含めその上のカテゴリーまでの一環指導体制を構築し、2019ワールドカップ2020オリンピックの成功に向けてジュニア強化を推進する。</p> <p>■報告 <ul style="list-style-type: none"> ・安全推進講習会の報告 ・セーフティーアシスタント資格取得登録 ・新スタートコーチ資格取得講習会報告 ・ブラッシュアップ講習会報告 ・タックルプロジェクトの取り組み報告 ・コーチ招聘事業報告 </p> <p>■協議 <ul style="list-style-type: none"> ・安全推進事業・S A登録制度講習会・来年度も合わせて実施する。 ・日程を早めに決めて欲しい。 札幌支部 4月4日(土) ・新スタート資格取得講習会 開催を早くシーズン前に開催して欲しい。要望の課題は、グランドが確保できるか、人工芝の屋内施設の活用確保できれば4月に実施できる。 コーチ資格者はコーチネット活用して欲しい。 ・2015の強化コーチ推薦者はなし。 </p>

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
普及育成委員会	<p>【委員会会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第1回普及育成委員会 期日 平成26年4月27日(日) 場所 札幌市 生涯学習センター ちえりあ ●第2回普及育成委員会 期日 平成27年1月11日(日) 場所 札幌市 生涯学習センター ちえりあ <p>【タグラグビーレフリー講習会】</p> <p>期日 8月25日(日) 会場 札幌市 北嶺高校体育館 対象 タグラグビー指導希望者 参加 60名</p> <p>【各種大会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第33回北海道スクール中学生大会 ●第26回北海道スクール小学生大会 <p>期日 9月20(土)・21日(日) 会場 野幌総合運動公園ラグビー場 参加者 小学生 10チーム 220名 中学生 8チーム 90名 指導者 100名 保護者 200名</p> <p>札幌ラグビースクール 北海道バーバリアンズ Jr 小樽ラグビー少年団 函館ラグビースクール 帯広ラグビースクール 旭川ラグビースクール スピリッツオブオホーツク 美幌ラグビー少年団 遠軽ラグビースクール 山の手ラグビースクール</p>	<p>委員会委員構成18名 (出席委員16名)</p> <p>委員会委員構成18名 (出席委員14名)</p> <p><成果> 指導員3名、受講者4名、中高生40名の47名で、小学生向けの導入方法、実際に大人同士のタグラグビーの試合体験などを通じ、ラグビーとタグラグビーの違いを実感できる講習となった。</p> <p><課題> 小学校教員への浸透が薄く、講習会の開催により今以上の普及が急務。</p> <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ①各スクール共、熱心で献身的な指導者と保護者に支えられて継続されている大会として、更なる発展のためにスクール生拡大の必要性を認識した。 ②ミニラグビー(小学生)レフリー研修会を実施し、ルール・レフリングを基にした小学生の指導者へのレベルアップを図った。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ①ジュニアにあっては、安全対策を第1と考え1年生と2・3年生カテゴリーを分けて実施した。更にスクール生不足の折、1チームを編成できないスクールもあり、合同チーム編成での対戦となった事も現状では致し方ない。 ②スクール出身者のラグビーへのモチベーションは高く、高校・大学へ進んでも中心選手として活躍している。 北海道ラグビー発展のためには、底辺拡大のためにスクール生の増加とスクール自体の新設も急務となっている。

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題															
普及育成委員会	<p>●第11回北海道小学生タグラグビー選手権大会 (兼サントリーカップ第11回全国小学生タグラグビー北海道ブロック大会) 期日 26年1月12日(月・祝日) 会場 北広島市総合体育館 参加数 12チーム 選手 111名 帯同コーチ 24名 優勝 「富良野小学校 ヘソタグズA」 準優勝 「花園小学校 花園エンジェルズA」</p> <p>●サントリーカップ 第11回全国小学生タグラグビー決勝大会 平成27年3月7日8日 会場 秩父宮ラグビー場 富良野支部代表 「富良野小学校 ヘソタグズA」 十勝支部代表 「花園小学校 花園エンジェルズA」</p> <p>【強化合宿】</p> <p>◆第1次強化合宿 8月23日(土)~24日(日) 於:野幌総合運動公園ラグビー場 参加 選手47名 コーチ14名</p> <p>◆第2次強化合宿 10月5日(土)~6日(日) 於:野幌総合運動公園ラグビー場 参加 選手28名 コーチ10名</p>	<p><成果></p> <p>①9支部からの出場となり、今年も全国大会へ2チームの参加が認められ非常に盛り上がる大会となった。 ②回を重ねるごとに選手のプレーも向上し、フルラグビーとは別の魅力をもったタグラグビーの良さを存分に發揮している。</p> <p><課題></p> <p>①学習指導要領に入り、小学校へのアピールを道協会や支部協会との連携で積極的に進めていくべきである。 ②講習会を開催後に継続的にタグラグビーを取り組んで頂くために、タグラグビー用具の配布が必要である。</p> <p>試合結果: 北海道に2チームの出場枠が与えられた。 富良野小ヘソタグズ 予選プール1勝2敗3位でシールドトーナメント進出 シールドトーナメント3勝し「優勝」 花園エンジェルズ 予選プール3敗でシールドトーナメント進出、初戦敗退するも、フレンドリーマッチで1勝し、フェアプレー賞の「石塚賞」を受賞</p> <p>※今後小学校体育へのタグラグビーの浸透を、効果的に実施できる体制の再構築を行います。</p> <p>北海道中学生スクール選抜指導体制 第1次強化合宿前に、北海道選抜チームの指導体制を関係者に通知した。(下記のとおり)</p> <table> <tbody> <tr> <td>団長</td> <td>佐藤孝文</td> <td>協会</td> </tr> <tr> <td>ヘッドコーチ</td> <td>小柴大地</td> <td>帯広RS</td> </tr> <tr> <td>コーチ</td> <td>畠中 学</td> <td>函館RS</td> </tr> <tr> <td>コーチ</td> <td>乗木 裕</td> <td>北海道BB</td> </tr> <tr> <td>マネージャー</td> <td>星 敏幸</td> <td>旭川RS</td> </tr> </tbody> </table> <p><成果></p> <p>ジュニア競技水準の向上を図るとともに、東日本ジュニアスクール大会参加チームの選抜および強化を目的として2回の強化合宿を実施した。</p> <p>①これまでの選抜チーム指導員に加えて、若い世代のコーチ陣を募集し、広く強化方針の共有が実現した。</p>	団長	佐藤孝文	協会	ヘッドコーチ	小柴大地	帯広RS	コーチ	畠中 学	函館RS	コーチ	乗木 裕	北海道BB	マネージャー	星 敏幸	旭川RS
団長	佐藤孝文	協会															
ヘッドコーチ	小柴大地	帯広RS															
コーチ	畠中 学	函館RS															
コーチ	乗木 裕	北海道BB															
マネージャー	星 敏幸	旭川RS															

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
普及育成委員会	<ul style="list-style-type: none"> ●北海道中学生スクール選抜強化合宿 期日 27年2月7日(土)・8日(日) 場所 札幌市 札幌学院大学室内練習場 参加選手 37名(スクール生のみ) コーチ 14名 <p>【交流戦】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●26年度北海道中学生交流試合 期間 6月～10月 ・主な会場 野幌総合運動公園ラグビー場 北海道バーバリアンズ定山渓グランド ・参加チーム 小樽ラグビー少年団 札幌ラグビースクール 旭川少年ラグビースクール 北海道バーバリアンズジュニア 北嶺中学校 立命館慶祥中学校 	<p>②ミニ・ジュニアを中心としたスクール・クラブ・ジュニアチーム選手の最終的な目標となり、参加のモチベーションも年々向上している。</p> <p>③交流事業の合同練習会を含めて、北海道協会としてのジュニア指導のスキームが確立した。</p> <p><課題></p> <p>①中学生ジュニア強化は、選手人口の増加への第1歩であり普及と育成が必須である。小学生のミニラグビーの競技人口の拡大・勧誘等に対して、関係者になお一層の取り組みをお願いしたい。</p> <p>②ミニ・ジュニアの各チームの指導項目・方法等の共有化を促進するため、道協会HP・フェイスブックなどを利用し各種情報の共有化などの更なる充実が必要。</p> <p>③交流戦事業の拡大によって、北海道全域のジュニアチーム間の交流機会を増やしたい。</p> <p>④高校ラグビーとの連携を図り、普及および強化を図りたい。また、高校指導者との協力によって指導方法の統一化を検討する。</p>
		<p><成果></p> <p>全道から37名を召集して実施した。</p> <p>3月14日15日の「東日本U15選抜大会」出場選手のセレクションを実施し、22名の出場選手とバックアップ選手を選出。(1年生含む)</p> <p><成果></p> <p>道央地区のスクール・クラブ及び中学校チームが参加し、通年にわたり交流試合を実施した。また、全道の全チームを対象に合同練習会を実施し、指導方針・方法の確認、選手の基本スキルの向上ならびに道内対象チームの交流親睦を図った。</p> <p>①今年度で9年目を迎えて、定着しつつあるが、他事業の増加や選手数の減少により合同チームによる試合増によってゲーム実施数が減少している。</p> <p>②中学生のチーム数が少ない北海道においては、数少ない試合機会であり、チーム指導上大きな利点がある。</p> <p>③大会の準備、調整、運営等のマネージメントの負担が大きい。</p>

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題														
普及育成委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・開催内容 開閉会式及び表彰式 札幌支部補助事業 ・付帯事業 北海道中学生合同練習会 (6月14日-15日) 後援：関東協会、日本協会 主管：札幌支部 招待コーチ： 日本協会 梅月信吾コーチ <p>【東日本スクール大会】</p> <p>1stステージ 期日 10月19日 会場 青森市マエダアリーナ・ラグビー場 参加 北東北選抜、岩手選抜、北海道選抜</p> <p>2ndステージ 期日 11月8日・9日 会場 千葉県スポーツセンター 参加 東日本地域の選抜チーム (14地区)</p> <p>【東日本U15選抜大会】</p> <p>期日 平成27年3月14日(土) 15日(日) 会場 水戸市 ツインフィールド ケーズデンキスタジアム水戸</p>	<p><課題></p> <p>①7人制の導入について委員会内部で協議したい。 ②ミニラグビーの試合数が全体に少ないとから、交流試合を積極的に導入したい。 ③全道的な参加を促したい。 ④例年同様に日本協会等の指導者の協力を得て、合同練習会を実施し、基本的な指導方針の浸透を図りたい。</p> <p><成果></p> <p>①今年度はセレクションによって2年生5名を含む22名の北海道スクール選抜チームを選考した。 ②1stステージの東北・北海道予選で3チーム中2位通過。2ndステージではプレート戦を全勝し、全国ジュニア大会出場決定戦に進むも、カップ4位の群馬県代表に惜敗し、全国大会出場はならなかった。しかしながら、東日本プレート優勝の成績を残した。</p> <p><課題></p> <p>①東日本大会については、関東協会からの旅費補助金額が年々削減されており、選手や指導員の個人負担が増加するなど、運営会計上非常に厳しいものとなっている。 ②北海道スクール選抜チームは、全道各チーム指導員の協力や研鑽によって指導や競技水準の確実な向上が見られた。 ③東日本大会では、各チームの実力が均衡し、シードチームとの差が少なくなってきている。</p> <p><成果></p> <p>北海道スクール選抜</p> <table> <tbody> <tr> <td>第2グループ予選リーグEプール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>vs 埼玉県中学校選抜</td> <td>40 - 0</td> </tr> <tr> <td>vs 茨城県RS選抜</td> <td>5 - 22</td> </tr> <tr> <td>vs 新潟県RS選抜</td> <td>17 - 12</td> </tr> <tr> <td>第2グループ3位決定戦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>vs 千葉県RS選抜</td> <td>5 - 37</td> </tr> <tr> <td>第2グループ4位で終了</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	第2グループ予選リーグEプール		vs 埼玉県中学校選抜	40 - 0	vs 茨城県RS選抜	5 - 22	vs 新潟県RS選抜	17 - 12	第2グループ3位決定戦		vs 千葉県RS選抜	5 - 37	第2グループ4位で終了	
第2グループ予選リーグEプール																
vs 埼玉県中学校選抜	40 - 0															
vs 茨城県RS選抜	5 - 22															
vs 新潟県RS選抜	17 - 12															
第2グループ3位決定戦																
vs 千葉県RS選抜	5 - 37															
第2グループ4位で終了																

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
普及育成委員会		<p>北海道中学校選抜 第1グループ予選リーグBプール vs 東京RS選抜A 5 - 4 1 vs 神奈川中学校選抜A 12 - 4 1 第1グループ決勝3位リーグ vs 茨城県中学校選抜 15 - 3 8 vs 長野県RS選抜 43 - 1 5 第1グループ3位リーグを2位で終了 ※冬季間の練習が充分できないこの時期の結果として、本シーズンに期待できる結果であった。</p>
育成委員会（中学校担当）	<p>●第5回全国中学校ラグビーフットボール大会 北海道予選会 期日 7月4日（金）・5日（土）・6日（日） 会場 函館市・根崎ラグビー場</p> <p>参加校 函館ラ・サール中学校（40名） 立命館慶祥中学校（25名） 北嶺中学校（15名）</p> <p>●第33回北海道中学校ラグビーフットボール大会 期日 9月5日（金）・6日（土）・7日（日） 会場 札幌市・月寒ラグビー場</p> <p>参加校 函館ラ・サール中学校（40名） 立命館慶祥中学校（25名） 北嶺中学校（15名）</p>	<p>〈成果〉</p> <p>①三校が切磋琢磨することで、中学校ラグビーの底上げにつながっている。 ②函館協会の協力で、素晴らしい環境で試合ができた。 ③優勝した函館ラ・サール中学は、東北北海道大会で善戦した。</p> <p>〈課題〉</p> <p>①近年私立三校のみの参加が続いている。参加校の増加が課題である。 ②6月から7月にかけては、各校とも学校行事が多く日程調整が難しい。</p> <p>〈成果〉</p> <p>①夏季大会から、さらに各チームが完成度を増し、質の高い試合が展開された。 ②3日間とも月寒を使用できることは有意義であった。また、高体連札幌支部大会とタイアップできたことは、グラウンド使用料、レフリーの手配、大会運営の面で有効であった。 ③優勝した函館ラ・サール中学は、東北北海道大会で優勝校を追い詰めることができた点は北海道のレベルアップを示している。</p> <p>〈課題〉</p> <p>①3校の参加であった。参加校の増加が課題である。 ②3チームでリーグ戦を行うには、3日間の日程と会場の確保が必要である。 ③全中の東北北海道予選、東日本の東北北海道予選の間に、本大会が開催され、優勝したチームはスケジュールが過密になる。また、経済的負担も大きい点が課題である。</p>

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題														
育成委員会（中学校担当）	<p>●第20回全国ジュニアラグビーフットボール大会 北海道・東北代表決定戦</p> <p>期日 11月22日(土)・23日(日)</p> <p>会場 岩手県・釜石球技場</p> <p>参加チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道中学校選抜(25名) 秋田県中学校選抜 岩手県中学校選抜 山形県中学校選抜 <p>●第20回全国ジュニアラグビーフットボール大会</p> <p>期日 12月28日(日)～12月31日(水)</p> <p>会場 東大阪市・近鉄花園ラグビー場 堺市・J－GREEN堺</p> <p>参加チーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 北海道中学校選抜(25名) 他全国から15選抜チーム <p>●東日本U15選抜大会】</p> <p>期日 平成27年3月14日(土) 15日(日)</p> <p>会場 水戸市 ツインフィールド ケーズデンキスタジアム水戸</p>	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ①3月のU15選抜大会から、半年間チーム作りを行い、強い連帯感を作ることができた。 ②試合の合間に、被災地見学を行った点はラグビー以上に教育的な効果があった。 ③東北の強豪を退け、全国ジュニアに初出場できた点は、大きな成果である。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各校の学校事情で強化に向けた日程の確保が難しい。 ②選抜チームへの動機づけの維持が難しい場合がある。 ③選手の経済的負担が大きい。 <p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ①1勝を挙げることができた。 ②北海道から2回目、中学校選抜としては初の出場であったが、ジュニアの選手が花園でプレーできた点が、まず価値があった。 ③中学校3校のチームスタッフが、選抜チームの意義や将来の事を、時間をかけて検討することができた。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ①チームに、戦略・戦術を徹底する時間を作り出せない現状にある。 ②初出場という点でマネージメントに不慣れな点があった。 ③ただ出場するだけではなく、勝ち上がるためのチーム作りと、それを支えるチームの規律と自立した選手育成が必要である。 <p>〈成果〉</p> <p>北海道中学校選抜</p> <table> <tbody> <tr> <td>第1グループ予選リーグBプール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>vs 東京R S選抜A</td> <td>5 - 4 1</td> </tr> <tr> <td>vs 神奈川中学校選抜A</td> <td>1 2 - 4 1</td> </tr> <tr> <td>第1グループ決勝3位リーグ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>vs 茨城県中学校選抜</td> <td>1 5 - 3 8</td> </tr> <tr> <td>vs 長野県R S選抜</td> <td>4 3 - 1 5</td> </tr> <tr> <td>第1グループ3位リーグを2位で終了</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※冬季間の練習が充分できないこの時期の結果として、本シーズンに期待できる結果であった。</p>	第1グループ予選リーグBプール		vs 東京R S選抜A	5 - 4 1	vs 神奈川中学校選抜A	1 2 - 4 1	第1グループ決勝3位リーグ		vs 茨城県中学校選抜	1 5 - 3 8	vs 長野県R S選抜	4 3 - 1 5	第1グループ3位リーグを2位で終了	
第1グループ予選リーグBプール																
vs 東京R S選抜A	5 - 4 1															
vs 神奈川中学校選抜A	1 2 - 4 1															
第1グループ決勝3位リーグ																
vs 茨城県中学校選抜	1 5 - 3 8															
vs 長野県R S選抜	4 3 - 1 5															
第1グループ3位リーグを2位で終了																

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
高 校 委 員 会	<ul style="list-style-type: none"> ・第15回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会 期日 3月30日(日)～4月7日(月) 会場 埼玉県熊谷市 熊谷ラグビー場 代表校 札幌山の手高校 函館ラサール高校 ・第3回全国高等学校選抜女子セブンズラグビーフットボール大会 期日 4月5日(土) 場所 熊谷スポーツ文化公園 熊谷ラグビー場 参加選手 5名 ・第1回全国高校7人制大会(アシックスカップ)北海道予選会 期日 6月7日(土)～8日(日) 会場 北海道バーバリズ定山渓 グラウンド 参加選手 144名 ・第10回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会北海道予選会 期日 6月14日(土)～15日(月) 会場 帯広の森球技場 	<p><成果> 第1回大会は全道12チームで実施した。各支部の参加状況は概ね良好。今後のレベルアップが期待できる大会であった。</p> <p><課題> 各学校において旅費が出ないなどの大きな課題が残る。仮に全国大会に進出した際、公欠が認められないことや旅費が学校からでないなどの学校規定との兼ね合いが問題である。また、協賛金の協力・宿泊場所の格安な提供により実施できた。</p> <p>道南選抜(30名)道央選抜(21名)道北選抜(39名) 道東選抜(29名)</p> <p><成果> 今回より4地区選抜を編成しトーナメント大会を実施した。大会を通じ22名の優秀選手を選出した。少人数でも全国大会を目指すことができる夢の大会であり、選手のモチベーションも高く、年々レベルが上がってきている。</p> <p><課題> 支部をまたぎチームを編成しなければならない学校もあり、事前練習に苦慮していた。少子化の昨今では、部員不足はやむを得ないが、各高校が単独チームで大会出場できるよう部員勧誘にいっそう努力してもらいたい。</p>

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
高 校 委 員 會	<p>TID北海道ブロックU17トライアウト</p> <p>期日 6月14日(土)～16日(月)</p> <p>会場 帯広の森ラグビー場</p> <p>参加選手 54名</p> <p>指導者 中野茂樹、佐々木陽平、 黒田弘則、伊藤充晴、 松田祐一、関川淳司、 山口昂希、岸本泰輔 日本協会RC原一郎氏</p> <p>平成26度北海道体育大会</p> <p>兼第69回国民体育大会北海道予選会</p> <p>(少年男子の部) ラグビーフットボール競技</p> <p>期日 平成26年6月17日(火) ～18日(水)</p> <p>会場 帯広市 帯広の森球技場</p> <p>選手数 少年A 135人 (前年-70) 少年B 148人 (前年+5)</p> <p>少年A 優勝：札幌・小樽・胆振 準優勝：十勝・根釧</p> <p>少年B 優勝：札幌・小樽・胆振 準優勝：北見</p>	<p>＜成果と課題＞</p> <p>各支部からの推薦選手を招集し、コベルコカップ菅平U17大会へ向けたセレクションを行った。S&C測定、基本テクニック、スキル習得を目的としたセッション、セレクショングーム、各種セミナーなど内容の濃い3日間だったが、選手の取り組みは素晴らしい、有意義な強化の機会となった。</p> <p>＜成果＞</p> <p>平成16年度から十勝支部で行っている国体道予選も今年で11回目になる。17年度からはU17のトーナメントも実施し、道内高校生の競技力向上と普及活動につながっている。今年は、2日日程に変更して4年目となる。大会運営ではポール設営、記録等に十勝支部協会、クラブ・大学委員会から多くの協力を得ながら、スムーズに競技進行することができた。</p> <p>＜課題＞</p> <p>年々ラグビーチーム員の減少に伴い少年A、Bの8支部代表トーナメントが難しくなり、少年Bは20年度、少年Aは21年度から参加チーム数、支部割りを考慮しながら大会方式を変更してきている。</p> <p>8支部対抗戦3日日程においては選手選考がしっかりと出来る反面、支部によっては経済的負担が大きいことから辞退する選手がいる現状をふまえ、平成23年度から2日日程に変更した。次年度はU17トライアウトを国体予選後に実施予定。</p>
	<p>・第1回U18北海道代表候補強化試合</p> <p>(北海道ラグビー協会招待試合前座)</p> <p>期日 平成26年6月22日(日)</p> <p>会場 札幌月寒ラグビー場</p> <p>参加選手 U18北海道代表候補 40名</p> <p>指導者 岸本泰輔、黒田弘則、 中野茂樹、伊藤充晴、 松田祐一</p>	<p>＜成果と課題＞</p> <p>長崎国体代表のセレクションを目的に、U18代表候補40名を招集、イエロー、ブルーの2チームを編成しセレクション試合を実施した。試合では、双方のチームに激しいDF、積極的に前に出るATが見られ、国体代表への生き残りをかけた選手達の素晴らしい取り組みが光った。</p>

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
高 校 委 員 会	<p>・第41回北海道高等学校選抜ラグビーフットボール大会 期日 7月26日(金)～30日(火) 会場 野幌運動公園ラグビー場 札幌月寒ラグビー場 参加選手 349名(12チーム) 招待チーム 神戸市立科学技術高校 つくば秀平高校 青森高校選抜</p> <p>第2回U18北海道代表候補強化試合 (北海道高校選抜大会・中日) 期日 7月28日(月) 会場 野幌総合運動公園 参加選手 U18北海道代表候補28名 指導者 岸本泰輔、黒田弘則、 中野茂樹、伊藤充晴、 山口昂希</p> <p>・コベルコカップ2014 第10回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会 期日 7月31日(木)～3日(日) 会場 長野県菅平サニアパーク 参加選手 U17(22名) U18(22名) 女子(8名)</p>	<p>＜成果と課題＞ 全国の強豪と対戦できるよい機会である。 競技力向上のよい機会であるから、今後もにさらに継続していきたい。 菅平大会と日程が重なっているので道内チームや道外招待チームのスケジュール調整が大変難しくなっている。</p> <p>＜成果と課題＞ 第1回強化試合を経て絞り込まれた28名の選手を募集し、選抜大会の招待チームとして来道している青森県選抜との試合を実施。長崎国体に向けた最終選考を行った。青森の強力FWに苦しみながらも北海道の選手達は個々にハードなDFを見せた。貴重なセレクションの機会であった。国体本戦を見据え北海道の戦い方の方向性を見出すことができるなど有意義であった。</p> <p>(U18) 予選会を通じて優秀選手22名を選考し、大会に臨んだ。よって、個々の能力はあってもチームとしての力をいかに発揮できるかが課題であった。しかし、神戸製鋼の元選手による指導を受け、見違えるほどのチームに成長した。</p> <p>(U17) 6月のU17トライアウト、国体道予選によって選出された代表22名が出場した。代表選手決定後、チーム強化(合宿、強化試合等)の日程が取れず、毎年苦戦を強いられている。初日は関東、東北に大敗したものの、2日目は四国、北信越に大勝した。菅平出発前の強化日程の確保、来年の国体メンバーの中心世代であることから、さらなる強化が必要である。</p> <p>(女子) 全国では、女子の活動が盛んである。特に関東では、高校・大学・社会人各カテゴリーの連携を図り、強化普及練習を毎週行っている。さらに、女子のクラブチームまたは、女子の部活動が単独チームで積極的に活動しているところが見られ、地域の女子ラグビーの拠点となっている。また、15人制ラグビーの普及も進んでいる。こういった現状を踏まえ北海道の女子ラグビーについての対策は急務となっている。</p>

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
高 校 委 員 會	<p>第24回北海道高等学校1年生U16ラグビーフットボール大会 期日 26年8月9日(土)~11日(月) 会場 北見市南町ラグビー場</p> <p>U16北海道ブロックトレセン 期日 8月9日(土)・10日(日) 会場 北見北斗高校、北見市南町河川敷グランド 参加選手 56名 指導者 中野茂樹、佐々木陽平、伊藤充晴、松田祐一、関川淳司、山口昂希、岸本泰輔</p>	<p>選手一人一人の出場機会を確保するためのチーム編成を進めたが、前年度より少ない12チームとなった。しかしながら、遠軽町にて合宿中の三重県立稻生高校を招待することが実現したため、前年度と同じ13チームでの実施ができた。予選は、参加チーム数の関係で、リーグ戦とトーナメントの混在した形式で実施。二日目は、予選結果をもとに上位ブロック、下位ブロックに分かれるトーナメント形式を採用したが、台風による豪雨の影響で河川氾濫の危険性が出たため、高校委員会と事務局の判断により、選手の安全確保のため中止とした。</p> <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ①実施時期 夏合宿時期を考慮し8月9日~11日開催。 ②レフリーの確保 各チームに振り分け実施。 ③チーム編成 春の入部から人数の増減の多いチームがあるため、人数の動静を把握し、チーム編成を適切に行う必要がある。 ④合同セッション 選手の疲労・運営側の体制が懸念された。 ⑤参加者負担 バス料金急騰による経済的負担が著しく増加した。改善策の検討が急務である。 ⑥招待チーム 補助等を進め、さらに参加を募ることを推進する。 <p>＜成果と課題＞</p> <p>各支部からの推薦選手を招集し、S & C測定、基本テクニックの習得を目的とした各種セッション、北海道代表やその先の高校代表、日本代表に向けた道筋についてセミナーを実施した。U16大会期間中の限られた日程の中、選手達は集中した素晴らしい姿勢で参加していた。</p>

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
高 校 委 員 會	<p>・平成26年度北海道女子7人制ラグビーフットボール親善試合 期日 平成26年9月23日 場所 帯広の森球技場 指導者 田中彦好、中澤孝弘 出場選手 高校生10名、大学生社会人9名</p> <p>・第67回北海道高等学校ラグビーフットボール南北選手権大会 兼第94回全国高等学校ラグビーフットボール大会北海道予選会 期日 9月19日(金)・20日(土) 21日(日)・22日(火) 会場 帯広の森球技場 当番校 北海道帯広工業高等学校 南北海道優勝 札幌山の手高等学校 準優勝 函館ラ・サール高等学校 北北海道優勝 中標津高等学校 準優勝 遠軽高等学校</p>	<p>＜成果と課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女子ラグビー発展のため、重要な事業。今回は道高校委員会や全道大会当番校・大学委員会など多くの協力を得て実施できた。 ・全道各地から集まるため、宿泊や交通手段、費用などは大きな課題。特に今回は帯広の選手は1名でその他は各地から集合した。高校委員会、大学委員会からは補助を支出してもらったが、社会人にはないため今後一考を要する。支部協会などからの協力を得たい。 ・高校生は花園セブンズ選考試合として行っている。その位置付けなどをきちんと要項にも盛り込みたい。 ・実施時期と場所は高校の全道大会決勝の前座で行った。当番校や高校委員会と実施計画などを密にしていきたい。 ・高校の全道大会の前座で行うことは実施場所が毎年変わるため移動に関しては大きな問題になる。来年度は函館支部になる。そこまでの宿泊や移動手段、高校生であれば引率の問題など考えなければならない。札幌支部はバスを出して当日移動した。来年度は宿泊を伴う可能性がある。移動と宿泊に関する予算確保も考えなければならない。 ・女子に関しては人数確保も重要な要素になる。スケジュールや場所によっては参加できない選手も出てくるので、早めの対応が必要になる。 <p>＜成果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道協会、十勝支部、審判部など多くの方々の協力により、無事に大会運営ができたことが最も大きい成果である。 ・グラウンドドクター待機により、緊急時の対応については万全の態勢だった。結果、大きなけがなどなく終了できた。 ・土、日、祝日開催のため、観客など多くの方に足を運んで頂いた。 ・決勝前の帯広北高校チアリーディング部による選手への激励がすばらしく、観客の感動を誘った。 <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯広開催は問題なく実施できたが、開催地域によっては大会運営費の問題がある。役員、審判団の旅費、交通費の問題は各当番地区で工夫が必要である。

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
高 校 委 員 會	<p>第69回長崎がんばらんば国体 日程 10月17日(金)～21日(火) 会場 長崎市かきどまり陸上競技場 参加選手 北海道代表23名 指導者 岸本泰輔、黒田弘則、 中野茂樹、成田正人、 小野泰章</p> <p>第22回北海道高等学校ラグビー フットボール新人大会兼第16回 全国高等学校選抜ラグビーフット ボール大会北海道予選会 期日 10月22日(水)～26日(土) 会場 函館市根崎ラグビー場 参加者 300名</p>	<p>＜成果と課題＞ 強豪福岡県に対しセットプレー、ブレイクダウンで後手にまわり、大敗を喫した。FWBKともにプレッシャー下でのスキルに大きな差があった。今後、強豪県と対等に対峙していくための効果的な強化プログラムを検討していかなければならない。</p> <p>＜成果＞ ①専門委員を中心に出場校の顧問、スタッフの協力により大会を運営することができた。 レフリーも引率顧問や函館のスタッフ、専門委員で行い旅費や宿泊費の軽減につながった。 ②大会日程は天候、気温も概ね問題はなかった。</p> <p>＜課題＞ ①シード校の決定は、予選会を経てから行っているため、抽選会も前日に行っている。しかし、チーム関係者およびレフリー側より事前に代表者(専門委員など)で抽選を行い、地区だけでも決定して欲しいと申し出があった。 ②次年度、上位2校が選抜大会への出場権が与えられる。今年度8校でのトーナメントを実施したが、普及の観点から次年度は12校での予選としたい。 ③今年度、力の差が大きかった。1回戦は1試合目を除き100点ゲームとなっている。新チームになつたばかりでチーム力の差があらわれやすい事もあるが、選手のモチベーションが下がることを避けるために大会運営に工夫を加えていきたい。</p>
	<p>・第94回全国高等学校ラグビーフットボール大会 期日 12月27日(土)～1月7日(水) 会場 近鉄花園ラグビー場</p> <p>・U18花園女子セブンズ 期日 12月27日 場所 近鉄花園ラグビー場</p>	<p>南北海道 札幌山の手高校 北北海道 中標津高校 出場選手(東軍:普及の部) 北海道大麻高等学校 3年 中澤 佑衣 札幌山の手高等学校 2年 渡邊 光咲</p> <p>・年々レベルが向上している。セブンズのスキルをしっかりと身につけた選手でなければ出場は厳しい。支部選考会が9月下旬、それ以降効果的な練習やゲームができるのが大きな課題。大会までのスキルアップをどのようにするか考えなければならない。</p>

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
高校委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第7回U18東西対抗戦 期日 平成27年1月7日(水) 会場 大阪府・近鉄花園ラグビー場 ・平成27年イーストジャパン遠征 期日 3月20日(金)～22日(日) 会場 栃木県宇都宮 	<p>北海道野幌高校 3年 中村 元 北海道羽幌高校 3年 田原 圭一郎 北海道羽幌高校 3年 佐賀 淳太郎 以上 3名出場</p>
高専委員会	<p>第50回北海道高等専門学校体育大会 ラグビーフットボール競技 兼 第45回全国高等専門学校ラグビーフットボール大会北海道地区予選 平成26年10月11日(函館)</p> <p>第45回全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 平成27年1月4日～9日(神戸)</p>	<p>函館高専 対 旭川高専 3 4 1 2</p> <p>1回戦 函館高専 対 佐世保高専 1 2 5 5</p>
大学委員会	<p>平成26年度学生強化講習会 開催日 平成26年5月10日・11日</p>	<p>会場 定山渓ラグビーグラウンド</p> <p><成果></p> <p>(1)前年に続き、札幌市のラグビーアカデミー事業の一環として定山渓の北海道バーバリアンズグラウンドを借りて実施した。講師は、バーバリアンズのコーチ、選手計4名に依頼した。 参加者は30名であった。</p> <p>(2)1日目は、アップはラグビーの動きを取り入れたハンドリング、スキルは基本コンタクトのタックルとベーシックなシェイプの動きとミニゲームなど段階的に講師の方々に指導していただき、最後にユニットに分かれて講習を受けた。</p> <p>(3)2日目は前日のタックルやシェイプの基本的なことを再度確認したうえで、最後に実践に近いミニゲームなどの指導をしていただいた。</p> <p>(4)札幌支部の事業との共催を継続できたことは、今後に繋がる意味で有意義であった。また今回もドクターを依頼し、怪我防止に努めた。</p> <p><課題></p> <p>(1)例年のことではあるが、より多くの参加者を得ることと、特に遠方の大学からの参加を促すことは課題である。</p>

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
大学委員会	<p>平成26年度春期大学交流大会 開催日 平成26年5月4日～7月13日</p> <p>第16回北海道地区大学セブンズラグビーフットボール大会 期日 平成26年7月27日（日）</p>	<p>会場 野幌ラグビー場他</p> <p>会場：月寒ラグビー場</p> <p>会場 野幌ラグビー場</p> <p>会場：月寒ラグビー場</p> <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 前年度のプレ開催を正式な事業として開催した。各校のBチームの試合なども含め、計12試合を各地で開催した。 (2) 6月14～15日の週末には野幌ラグビー場を2面使い、レフリー研修会と合わせて6試合を行った。多くの学生とレフリーが集まる場を持てたことは有意義であった。 <p><課題></p> <p>札幌圏以外のチームの参加をもっと促す必要がある。Bチーム同士のリーグ戦を開催することも検討すべき。</p> <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 4チームが参加した1部は道都大学Aが優勝。10チームが参加した2部は札幌大学Bが優勝、コンソレーションは旭川医科大学Aが優勝した。道都大学は2015年4月に秩父宮ラグビー場で開催される東日本大学セブンズ大会に北海道代表として参加する。 (2) 毎年、この大会が月寒ラグビー場で開かれることで、選手の参加意欲、モチベーションは高まっている。 (3) 参加校のうち、北海道大学水産学部、北海道科学大学は、人数不足のため15人制の大会には出場しなかった。今後、セブンズ大会に照準を合わせて活動するチームがさらに増えるかもしれない。 (4) 大会の中間に、恒例となった女子マネージャーを対象としたタグラグビーの講習会と試合を実施した。雨の中、思いのほかの盛り上がりを見せ、レフリーやの休憩時間の確保、大会後半の時間遅れの回避にも役立った。 (5) 毎回参加してくれるレフリーが多く、レフリー間の交流も深まっている。インゴールジャッジは各校の学生が務めた。

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
大 学 委 員 会	<p>第44回北海道地区大学選手権大会 兼 第22回全国大学選手権大会予選 兼 第65回全国地区対抗大学大会 北海道予選会</p> <p>開催日 平成26年9月14日 ～10月19日</p>	<p>会場 各地区的グラウンド、帯広の森ラグビー場、小樽望洋台グラウンド、野幌ラグビー場、月寒ラグビー場</p> <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)全国大会へ出場できる1部のレベルアップが必要。 (2)女子タグラグビーの定着と、一般観客に足を運んでもらえるようなさらなる工夫が必要である。 参加チーム数が毎年変わるために、トーナメントやリーグ戦の実施形態に工夫が必要となっている。 <p>＜成果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)今年度から方式を変更し、A1リーグ4校、A2リーグ4校、Bトーナメント10校の計18校で行った。Aはリーグ戦を行い、A1とA2の上位2校の6チームによる決勝トーナメントで北海道の代表チームを決定した。A2リーグの下位2チームとBトーナメントの上位2チームは入替戦を行った。 (2)開催方式を変更した結果、前年度に8試合あった80点差以上の試合が1試合に、どちらかが100点以上得点した試合が5試合から1試合にそれぞれ減った。 (3)Aは3人レフリーアシスタントと水係がビブスを着用することが定着している。Bもできる限り3人レフリーアシスタントで実施した。地方開催の試合には大学委員が責任者として立ち会った。 (4)集中開催は札幌の他、網走と帯広と小樽で行った。いずれも支部の方々の協力を得てすべていい環境でゲームが実施できた。 (5)1チームの試合棄権があり、そこでBの学連選抜チームを構成してエキシビションを実施した。人数不足で大会に登録できなかった北海道科学大的選手も参加でき、このような試みも有効であることがわかった。 <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)A, Bとも15人以下の試合を余儀なくされるケースがあった。安全対策と、部員数が少ないチームの危険防止、モチベーションを下げない工夫が必要である。 (2)公式戦に参加する姿勢が見られないチームがまだある。
	その他	<p>(1)大学委員会は、2014年3月29日、同8月30日、2015年2月14日に、学連委員会と合同で開催した。</p>

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
社会人・クラブ委員会	<p>第40回北海道クラブラグビーフットボール選手権大会 兼 第24回東日本クラブ選手権大会北海道予選</p> <p>【北海道トップリーグ】 平成26年5月25日～7月27日</p> <p>【北海道チャレンジリーグ】 平成26年8月24日～10月12日</p> <p>【北海道トップリーグ入替戦】 平成26年10月19日</p>	<p><成果></p> <p>今年度の大会には、北海道トップリーグ(以下「道TL」という。)、北海道チャレンジリーグ(以下「道CL」という。)合わせて9チームがエントリーした。前年度から1チームの減である。</p> <p>道TLは、道内クラブの頂点を目指す4チームでリーグ戦を行った。また、道TL入りを目指す6チームで構成する道CLではこれまでの2ブロックに分けて行っていたものを1ブロック制で実施した。</p> <p>道TLの優勝は、3戦全勝の北海道バーバリアンズAで3試合をいずれも100点以上の得点を挙げる攻撃力を見せつけ、一方、失点は「0」点という圧倒的な力量を示しての優勝となった。</p> <p>準優勝は2勝1敗でOKHOTSK BLUE R.F.C、3位は1勝2敗で上磯ラガー、4位は3敗でサッテツクラブとなった。 ※優勝の北海道バーバリアンズは、東日本クラブ選手権大会北海道ブロック代表として本大会に出場し、11月16日の神奈川タマリバクラブとの決勝戦で勝利し東日本クラブチームの覇者となった。</p> <p>準優勝のOKHOTSK BLUE R.F.Cは道TL昇格1年目で素晴らしいパフォーマンスを発揮し2勝を挙げた。</p> <p>道CLは、とかチエスが頭一つ、二つ抜け出ているといった感じでまったく危なげない試合運びで全勝し優勝を決めた。準優勝は3勝1敗で、ベテランプレーヤー中心で挑んだ北海道バーバリアンズBとなった。</p> <p>道TL入替戦では、道TL4位のサッテツクラブと道CL優勝のとかチエスが対戦し、サッテツクラブが勝利し残留を決めた。 ※道TL3位の上磯ラガーと道CLの北海道バーバリアンズBの試合は、バーバリアンズBのチャレンジ権不行使により試合なし。</p> <p>※得点結果等は別掲</p> <p><課題></p> <p>参加チームが減少傾向にある中、今年度も前年度に比べ参加チームが1減となり、9チームでの開催となった。</p> <p>参加チームの減による影響は、道CLに顕著に表れ、これまで地理的なことを考慮し2ブロック制で実施していたリーグを1ブロック制で行ったことから、道央・道東・道北と全域にチームが散らばり、参加チームの移</p>

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
社会人・クラブ委員会	<p>第11回東日本トップクラブリーグ (北海道開催分)</p> <p>①平成26年8月30日(定山渓) 北海道バーバリアンズ 対 YC&AC (○129-0)</p> <p>②平成26年9月7日(定山渓) 北海道バーバリアンズ 対 マンダラ東京 (○126-0)</p> <p>③平成26年9月21日 北海道バーバリアンズ 対 北上矢巾ブレイズラガー (○117-0)</p> <p>④平成26年10月12日 北海道バーバリアンズ 対 タイセイハウジーレッズ (○84-0)</p>	<p>動に係る負担が増すという状況になった。各クラブとも長距離の移動を伴う遠征となりいろいろと苦労したことがうかがえた。また、地理的中間地域である十勝支部での開催試合が多く組まれたが、同支部の役員及び関係クラブ等には、運営にあたって多大なご負担をお掛けした。今回の十勝支部の運営力に敬意を表したい。</p> <p>レフリーの配置についても、ある一定の時期に高校、大学、クラブなどの試合が集中する中、各支部が主体的にご手配いただいたところである。しかしながら、全道単位では恒常的にレフリーの数が少なく、当委員会としても各クラブにレフリーの必要性を訴え、レフリー育成に向けた働きかけをする必要があると感じている。</p> <p>試合内容に関しては、道TLについて、既に全国レベルの実力を持った北海道バーバリアンズAと他チームとの力の差が開き過ぎ一方的な試合展開となることから、優勝した北海道バーバリアンズAはもとより、敗れた他チームを含めて、試合のモチベーションを保つことが難しい状況となっている印象がある。</p> <p>道CLについては、優勝したとかチエス以外はほぼ実力が拮抗し、最後まで勝利を目指し、あるいはトライを目指す姿が印象的であった。選手以外のスタッフ不足は一部のクラブを除き、どのクラブでも顕著であり、クラブとしてスタッフ力の強化も急務であると感じている。</p> <p><成果></p> <p>今年度から、このリーグは東日本クラブ選手権とは切り離したかたちのリーグとして実施されることになり、昨年度から2チームを追加した9チーム総当たりで行われた。</p> <p>道協会唯一のエントリーリームである北海道バーバリアンズが地元札幌市で4試合を戦った。</p> <p>試合は、4試合とも失点「0」で抑えるという圧倒的な実力を示しての勝利であり、このリーグの中でも際立って存在感示したかたちである。</p> <p>運営面でも、同クラブのメンバーが準備を重ね、試合からアフターマッチファンクションに至るまで配慮の行き届いた運営であった。</p> <p>なお、北海道バーバリアンズは、12月14日の最終節で惜しくも神奈川タマリバクラブに僅差で敗れ準優勝であった。</p>

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
社会人・クラブ委員会		<p><課題></p> <p>東日本トップクラブリーグの運営費は各クラブの支弁により賄われることから、クラブの経費圧縮のため、例年、月寒ラグビー場を使用していたものを定山渓バーバリアンズグラウンドで実施した。札幌市郊外での実施といった点から、一般のラグビーファンが観戦するというよう光景は若干少なく感じた。</p> <p>運営にあたっては、ホームチームが主体となって円滑に進んだが、紅葉時期と交通事故が重なって激しい交通渋滞が起こった4試合目には、一部のクラブ委員とマッチコミッショナーが所定の時間までに到着できないといったアクシデントも起こった。</p> <p>なお、本大会へのレフリー配置に関し、レフリー委員会に特段の配慮をいただいたことに感謝申し上げる。</p>
セーフティアシスタント	<p>1. セーフティアシスタント（メディカルサポート）養成・更新講習 平成23年から名称変更され、内容的にはほぼ同様。 全道大会前の監督主将会議にて認定講習を行い、旭川・函館・空知支部等々各支部、各大会前に講習を行う。</p> <p>2. グラウンドDr派遣 全道大会・有料試合にはほぼ派遣できている。 しかし、現状の医師不足から支部単位の大会に全て派遣するのは困難であり、数少ないグラウンドDrのボランティア精神に頼っているのが現状である。</p>	<p>1. セーフティアシスタント（メディカルサポート）養成・更新講習会 例年通り、北海道選手権大会主将監督会議の後に開催す。 各支部単位で講習会を可能な限り開催した。 要望のあった講習会には対応できていると考えられる。 以前から安全推進講習と内容が重複しており、SA独自のカリキュラムが必要かと思われ、工夫して行きたい。 例えば実地実習など検討したい。</p> <p>2. グラウンドDr派遣 医師確保困難な状況が続いているが、基本的には全道大会レベル以上のゲームにはグラウンドDrを派遣したいと考えている。 委員会としてもグラウンドに来てくれるDrを発掘する努力はしているが、個人的な繋がりで無理を言ってお願いしている状況が続いている。</p> <p>ドクターバッグについては、5年前用意した物品は殆ど消費されてしまい、補充は無く自前で準備せざるを得ないのが現状です。消耗品など各大会の運営費の中で支出出来るものは準備しておいて欲しい。</p>

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
広報委員会	1. ホームページ管理運営 2. コミュニケーション活動 3. 有料試合及び大会対応	<p>◇活動内容</p> <p>1. ホームページ管理運営</p> <p>◆目的</p> <p>一般社会、マスコミ、ラグビーファン、加盟チーム及び協会関係者に対する有料試合、大会、イベント及び協会からの情報提供、情報発信の有効な手段としての積極的な活用</p> <p>◆内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理、運営、メンテナンス、コンテンツの作成 ・問い合わせの受付 ・上部組織からの通達等の伝達 ・大会及び講習会の情報発信 <p>2. コミュニケーション活動</p> <p>◆目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協会と社会の双方向コミュニケーション活動を適切に行い、社会との良好な関係づくり ・社会広報として、ラグビーファミリー増大のための一般社会、地域・自治体・公的機関との関係構築と提携促進 ・協会内広報として、加盟チーム・協会関係者などへの情報発信 ・メディア広報として、マスコミ・報道機関との関係を密接にし相互理解を進め好意的報道の確保 <p>◆内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体、メディア及び協会関係者などからの情報入手と情報の共有 ・大会、イベントの情報発信 ・合宿誘致、チーム立ち上げなど問い合わせ対応と情報提供 ・一般情報の協会関係者への情報発信、協会情報の協会関係者及び一般社会への情報発信 ・協会情報、事業計画及び大会・イベントなどの報道資料の提供 ・報道機関とのイベントの共催、協賛広告出稿 <p>3. 有料試合及び大会対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有料試合及び大会のアテンドによる広報 ・ポスターの作成、掲示並びに配布 ・チケット販売 ・記者会見、会見レポート作成 ・ホームページへの協賛企業の獲得と広告掲載

委員会名	事業名及び実施日	成 果 及 び 課 題
ゴルデンオールディーズ委員会	<p>* 6月21日(土) 第1回 委員会開催。</p> <p>* 6月22日(日) 招待試合「明治大学VS慶應義塾大学」 競技役員で協力。</p> <p>* 8月30日(土) 第2回 委員会開催。</p> <p>* 8月31日(日) トップリーグ公式戦 「NECグリーンロケッツ VS ヤマハ発動機ジュビロ」 及び、 北海道大学ラグビー部創立90年 記念試合 競技役員で協力。</p> <p>* 11月22日(土) 第3回 委員会開催</p>	<p>**招待試合** 競技役員として運営に参加する。 昨年に引き続き名簿の整理</p> <p>**課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・招待試合における情報の共有が不十分なため、お客様である観客の方々への誘導に若干の混乱があった。 ・委員の支部の偏りがあるため、来年は各支部より支部選出の委員をだしてもらう。 ・2019年ワールドカップ札幌開催に向けラグビーの裾野を広めるため、今後の委員の取り組みを検討する。

第69回国民体育大会 北海道選手団名簿

少年男子の部

No.	氏名	学校名	No.	氏名	学校名
1	小林 海斗	北海道中標津高等学校	13	畠中 豪士	北海道函館工業高等学校
2	四辻 圭佑	札幌山の手高等学校	14	内海 圭二	札幌山の手高等学校
3	井上 雄太	北海道遠軽高等学校	15	モリキ リード	札幌山の手高等学校
4	伊藤 鐘平	札幌山の手高等学校	16	稻葉 信	北海道北見北斗高等学校
5	佐藤 勇太	札幌山の手高等学校	17	井戸坂 宥希	北海道中標津高等学校
6	三浦 アキラ	北海道遠軽高等学校	18	本間 憧唯	札幌山の手高等学校
7	佐藤 陽弘	札幌山の手高等学校	19	高橋 慎吾	北海道遠軽高等学校
8	舟橋 謙将	札幌山の手高等学校	20	山下 巧	北海道芦別高等学校
9	岡田 拓未	札幌山の手高等学校	21	川村 晃大	北海道中標津高等学校
10	木津谷 元気	札幌山の手高等学校	22	諸橋 竜太	北海道帯広工業高等学校
11	鹿野内 蓮	北海道遠軽高等学校	23	竹崎 嶽太	北海道中標津高等学校
12	佐賀 淳太郎	北海道羽幌高等学校			

スタッフ

団長	小野 泰章	北海道野幌高等学校	コーチ	黒田 弘則	札幌山の手高等学校
総務	成田 正人	北海道芦別高等学校	コーチ	中野 茂樹	北海道小樽潮陵高等学校
監督	岸本 泰輔	北海道小樽桜陽高等学校	トレーナー	江口 亮太	はり・灸みさきの整骨院

成年男子の部

No.	氏名	学校名	No.	氏名	学校名
1	馬渕 勝	株日本レーベン	6	笹田 幸介	株メディカルシステムネットワーク
2	根本 千陽	北海道旅客鉄道	7	平川 哲也	株日本レーベン
3	山口 昂希	北海道中標津高等学校	8	櫻場 弥	株日本レーベン
4	七戸 勇氣	株日本レーベン	9	立野 弘高	札幌市立月寒小学校
5	君嶋 祐太	株日本レーベン	10	小山 雄也	芦別市役所

スタッフ

監督	山内 博史	北見市役所	コーチ	鈴木 康信	フィジカルスポーツ
コーチ	鈴木 貴博	株日本レーベン	代表	津軽 敦志	札幌駅総合開発
総務	山崎 高徳	札幌市役所			

平成26年度大学ベストフィフティーン

No.	氏名	学校名	No.	氏名	学校名
1	坂本 大二郎	札幌大学2年	9	野村 大地	北海道大学2年
2	菅原 勇人	札幌大学3年	10	藤嶋 将史	北海道大学3年
3	北澤 聖司	北海道大学4年	11	川村 元樹	札幌大学4年
4	仲辻 周次郎	北海道大学3年	12	伊藤 紳介	札幌大学4年
5	安倍 賢将	札幌大学3年	13	平間 稔裕	道都大学3年
6	真鍋 裕也	道都大学3年	14	坂本 武人	道都大学2年
7	木村 峻輔	札幌大学4年	15	吉賀 文太	北海道大学3年
8	佐藤 弘樹	札幌大学1年			

III 試合並びに大会結果

A 北海道協会主管による大会

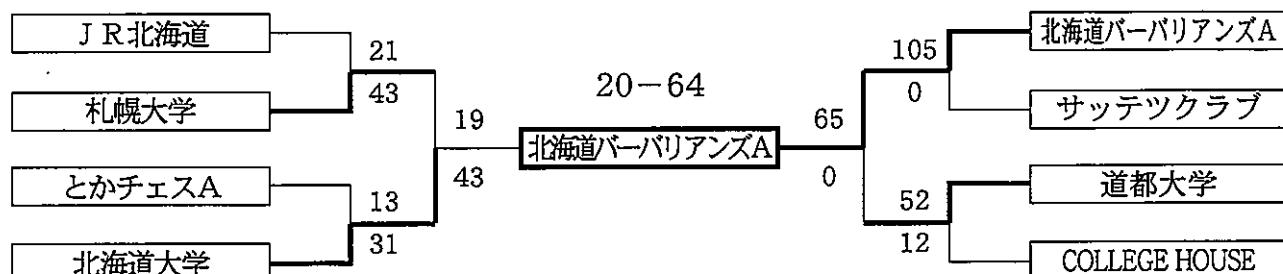
○第44回北海道ラグビーフットボール選手権大会試合結果報告

2014年(平成26年)6月28日、29日、7月6日

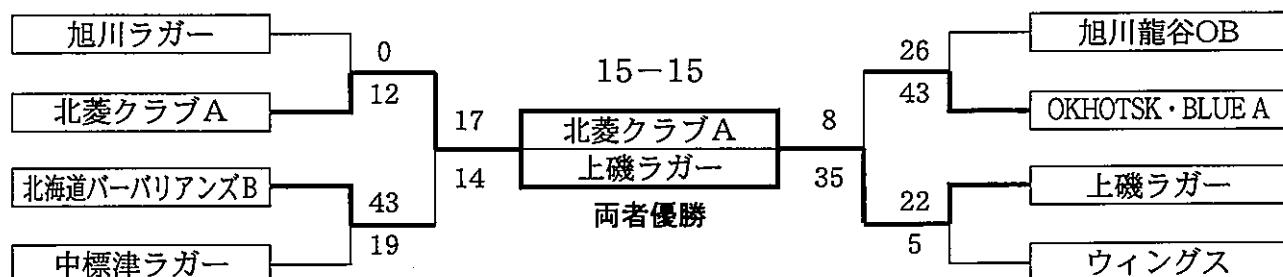
野幌総合運動公園・千歳青葉公園・札幌医大グラウンド

定山渓バーバリアンズグラウンド・苫小牧緑ヶ丘公園ラグビー場

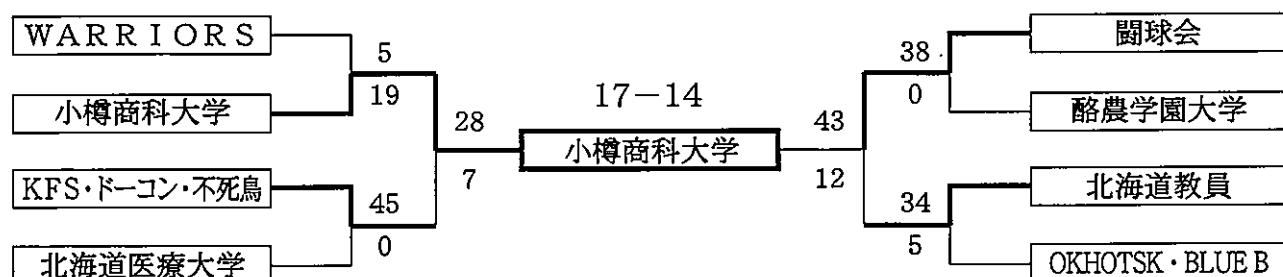
Aブロック 優勝 北海道バーバリアンズA



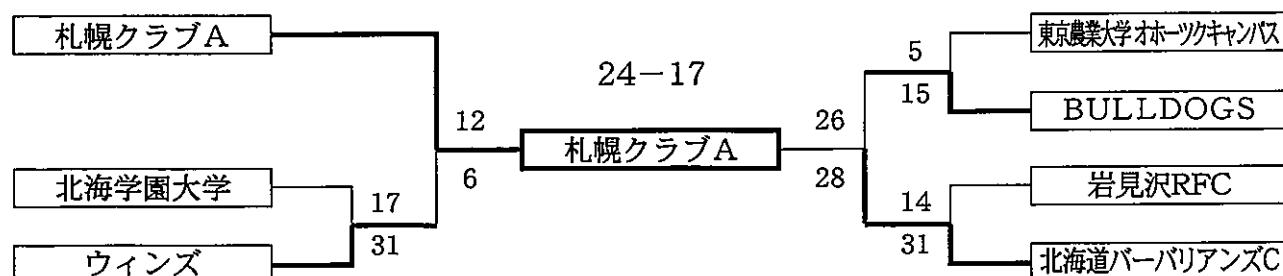
Bブロック 優勝 北菱クラブA 上磯ラガー



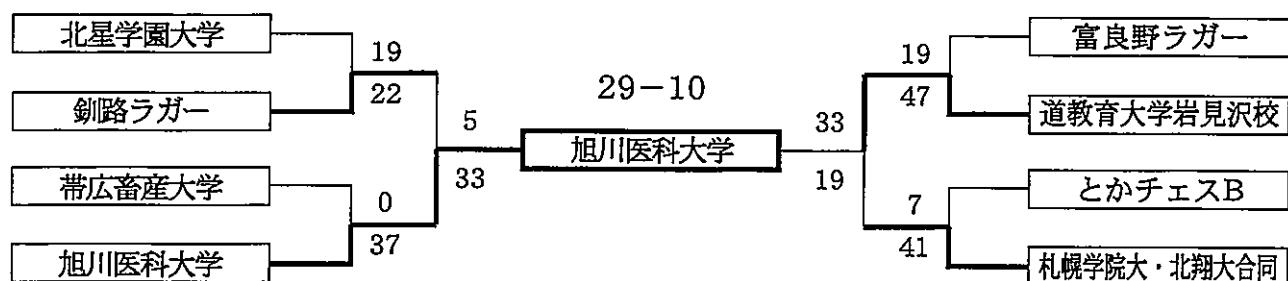
Cブロック 優勝 小樽商科大学



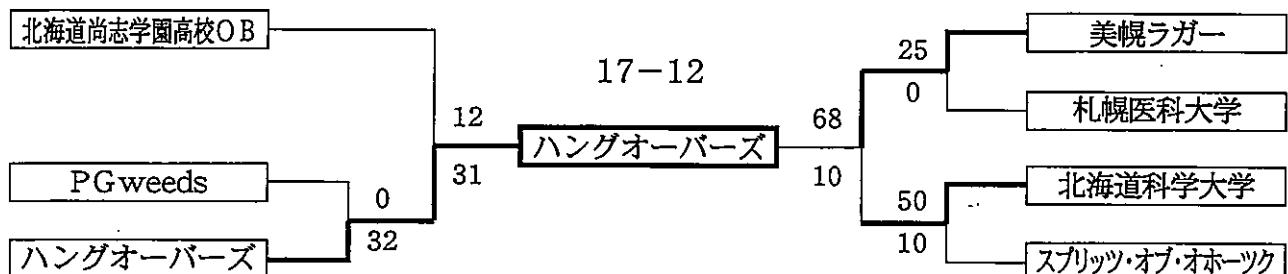
Dブロック 優勝 札幌クラブA



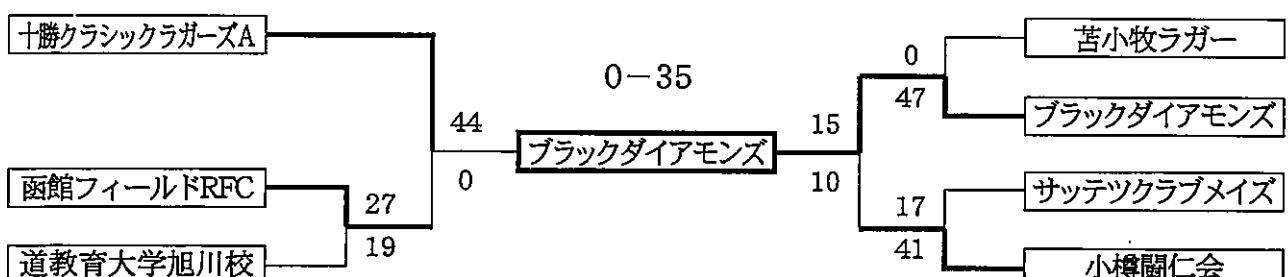
Eブロック 優勝 旭川医科大学



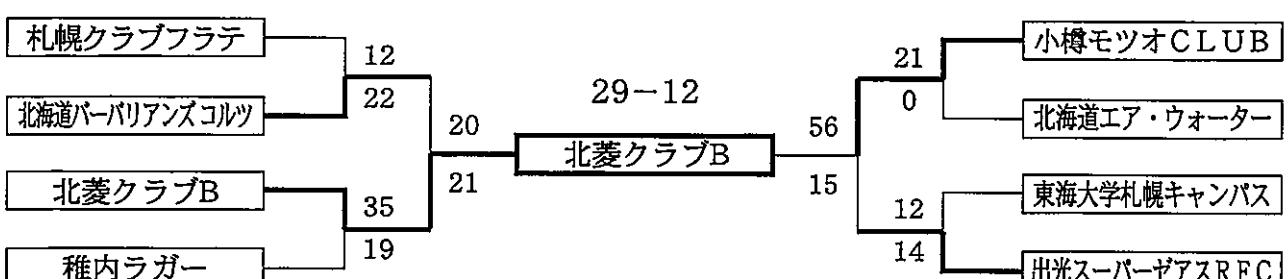
Fブロック 優勝 ハングオーバーズ



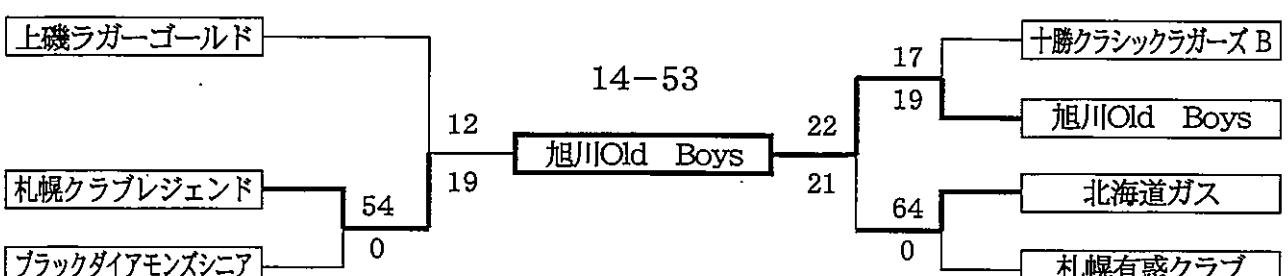
Gブロック 優勝 ブラックダイアモンズ



Hブロック 優勝 北菱クラブB



Iブロック 優勝 旭川Old Boys



○第40回 北海道クラブラグビーフットボール選手権大会

【北海道トップリーグ】

	バーバA	上磯ラガー	サッテツ	OKHOTSK	成績
北海道バーバリアンズA		○ 1 0 2 - 0	○ 1 2 8 - 0	○ 1 2 7 - 0	優勝(3勝)
上磯ラガー	5/25 12:00 北斗市		○ 2 4 - 1 9	● 2 9 - 3 4	3位(1勝2敗)
サッテツクラブ	6/8 11:00 定山渓	7/27 12:00 定山渓		● 1 0 - 3 4	4位(3敗)
OKHOTSK BLUE R.F.C	7/27 13:45 定山渓	6/8 13:00 定山渓	6/27 13:00 北見市		準優勝(2勝1敗)

【北海道チャレンジリーグ】

	F A クラブ	とかチエス	バーバB	札幌クラブ	釧路・岩見沢	成績
F A クラブ		● 1 7 - 7 1	● 2 6 - 3 3	○ 4 5 - 2 6	○ 9 2 - 2 0	3位(2勝2敗)
とかチエス	9/14 12:45 帯広市・河川敷		○ 7 3 - 0	○ 9 2 - 0	○ 8 6 - 5	優勝(4勝)
北海道バーバリアンズB	10/5 13:00 旭川市カムイ	9/7 13:45 定山渓		○ 7 9 - 7	○ 4 0 - 2 6	準優勝(3勝1敗)
札幌クラブ	9/7 12:00 定山渓	10/5 13:30 帯広の森	9/21 11:00 定山渓		○ 5 3 - 2 2	4位(1勝3敗)
釧路・岩見沢ラガー	9/28 13:00 帯広の森	8/24 13:00 釧路市・河川敷	9/14 14:30 帯広市・河川敷	10/12 13:30 帯広市・河川敷		5位(4敗)

【北海道トップリーグ入替戦】10月19日(定山渓)

①14:00KO サッテツクラブ(トップL4位) ○32対26● とかチエス(チャレンジL優勝)

※サッテツクラブのトップリーグ残留決定

※バーバリアンズBは入替戦に挑戦する権利を行使しないため試合なし。上磯ラガーの道トップL 残留決定

○2014年度春期大学交流大会

- (1) 2014年5月4日 (日) 教育大旭川校G
教育大旭川 19-17 教育大釧路 (30分)
教育大釧路 10-24 教育大岩見沢 (30分)
教育大岩見沢 22-10 教育大旭川 (30分)
- (2) 2014年5月18日 (日) 千歳青葉G
札幌大 79-5 札学・北翔 (40分×2)
- (3) 2014年6月14日 (土) 野幌G
札学・北翔 25-19 小樽商大 (35分×2)
旭川医大・北都 44-7 帯広畜産大 (30分×2)
- (4) 2014年6月15日 (日) 野幌G
帯広畜産大 34-20 小樽商大 (35分×2)
北大 A 64-5 道都大 A (40分×2)
北大 B 31-17 道都大 B (30分×2)
教育大岩見沢 26-24 北星学園大 (35分×2)
- (5) 2014年7月13日 (日) 千歳青葉G
北大 A 25-22 札幌大 A (40分×2)
北大 B 0-32 札幌大 B (40分×2)

○2014年度大学セブンズ大会

2014年7月27日（日） 月寒ラグビー場

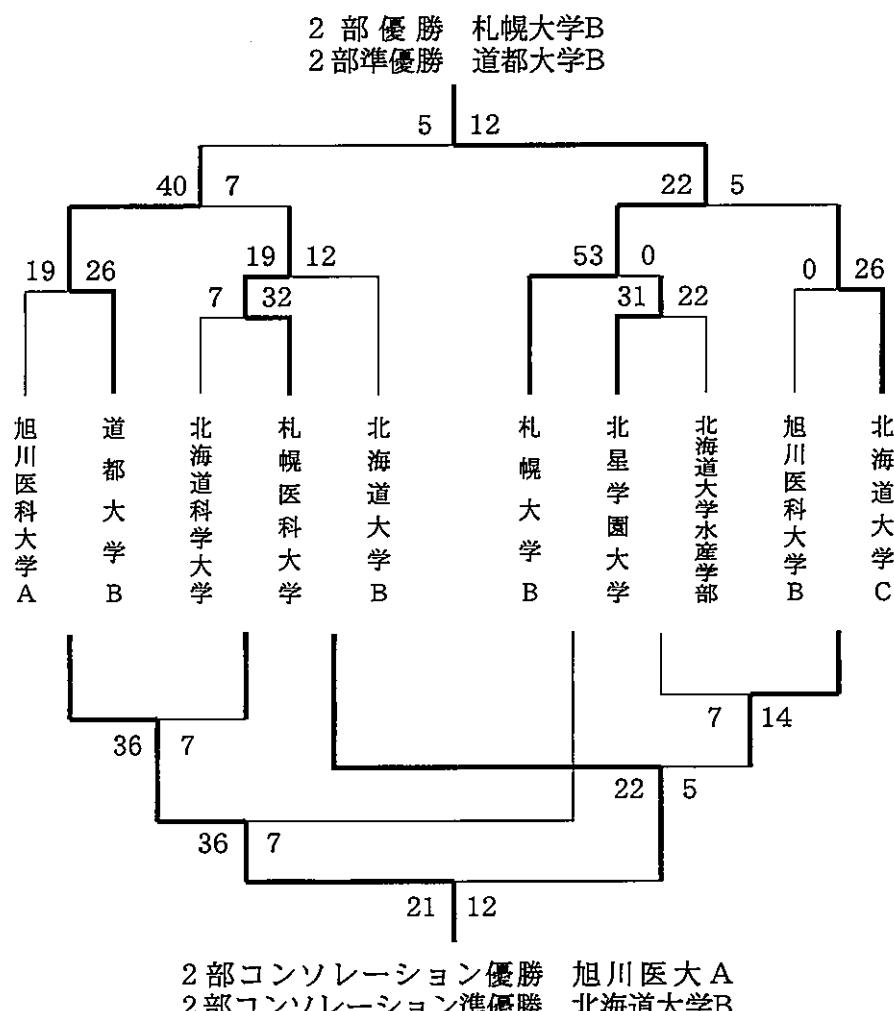
2014年度大学セブンズ1部

チーム名	北海道大学A	酪農学園大学	札幌大学A	道都大学A	勝	負	順位
北海道大学A		○ 3 3 - 5	○ 2 4 - 0	● 7 - 1 7	2	1	2位
酪農学園大学	● 5 - 3 3		● 5 - 4 3	● 1 0 - 5 4	0	3	4位
札幌大学A	● 0 - 2 4	○ 4 3 - 5		● 5 - 2 8	1	2	3位
道都大学A	○ 1 7 - 7	○ 5 4 - 1 0	○ 2 8 - 5		3	0	1位

1部優勝決定戦

道都大学A 21 - 5 北海道大学A

2014年度大学セブンズ2部



2部コンソレーション優勝 旭川医大A
2部コンソレーション準優勝 北海道大学B

○2014年度大学インカレ大会
2013年9月14日（土）～10月26日（土） 月寒ラグビー場他

2014年度インカレA1リーグ

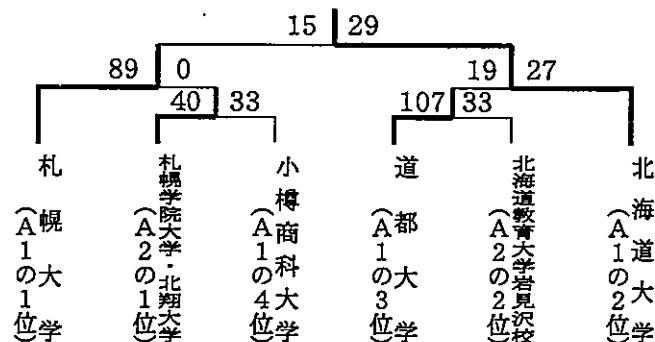
チーム名	北海道大学	札幌大学	道都大学	小樽商科大学	勝	負	順位
北海道大学		● 12-19	○ 43-15	○ 52-0	2	1	2位
札幌大学	○ 19-12		○ 44-29	○ 86-7	3	0	1位
道都大学	● 15-43	● 29-44		○ 31-26	1	2	3位
小樽商科大学	● 0-52	● 7-86	● 26-31		0	3	4位

2014年度インカレA2リーグ

チーム名	札学・北翔	教育大岩見沢	旭医大・北都	北見工大	勝	負	順位
札幌学院大学・北翔大学合同		○ 38-7	○ 56-29	不戦勝	3	0	1位
北海道教育大学岩見沢校	● 7-38		○ 75-19	○ 92-0	2	1	2位
札幌学院大・北翔大・保健福祉専門学校合同	● 29-56	● 19-75		○ 39-0	1	2	3位
北見工業大学	不戦敗	● 0-92	● 0-39		0	3	4位

2014年度インカレ決勝トーナメント

優勝 北海道大学

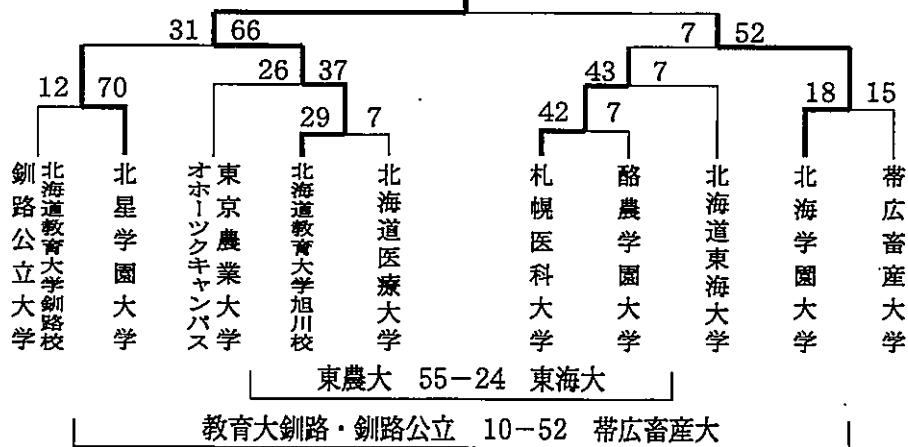


札幌学院大・北翔大合同チームはA1に昇格
小樽商大はA2に降格

2014年度インカレBトーナメント

B優勝 北海道教育大学旭川校

24 17



A2, B入替戦

B1位の北海道教育大学旭川校は、北見工業大学の棄権によりA2に昇格。北見工大はB2降格。

旭川医大・北都保健福祉(A2の3位) 38-26 北海学園大(Bの2位)

エキシビションマッチ 北海道教育大学旭川校 34-22 学連選抜

(Aグラウンド) 予選プールA

	札幌清田高校	北見北斗高校	羽幌高校	勝ち点	順位
札幌清田高校		○ 22-0	○ 21-19	6	1
北見北斗高校	×	0-22	○ 33-10	3	2
羽幌高校	×	19-21	× 10-33	1	3

(Aグラウンド) 予選プールB

	中標津高校	旭川工業高校	札幌山の手高校	勝ち点	順位
中標津高校		○ 26-7	× 5-29	3	2
旭川工業高校	×	7-26	× 0-48	1	3
札幌山の手高校	○ 29-5	○ 48-0		6	1

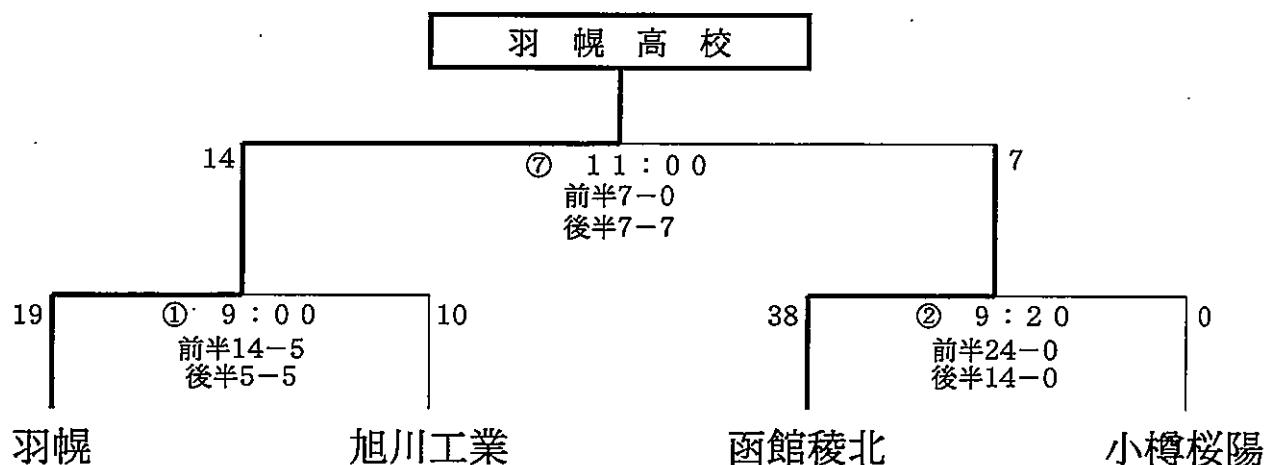
(Bグラウンド) 予選プールC

	立命館慶祥高校	函館稜北高校	芦別高校	勝ち点	順位
立命館慶祥高校		○ 20-5	× 26-29	3	2
函館稜北高校	×	5-20	× 14-24	1	3
芦別高校	○ 29-26	○ 24-14		6	1

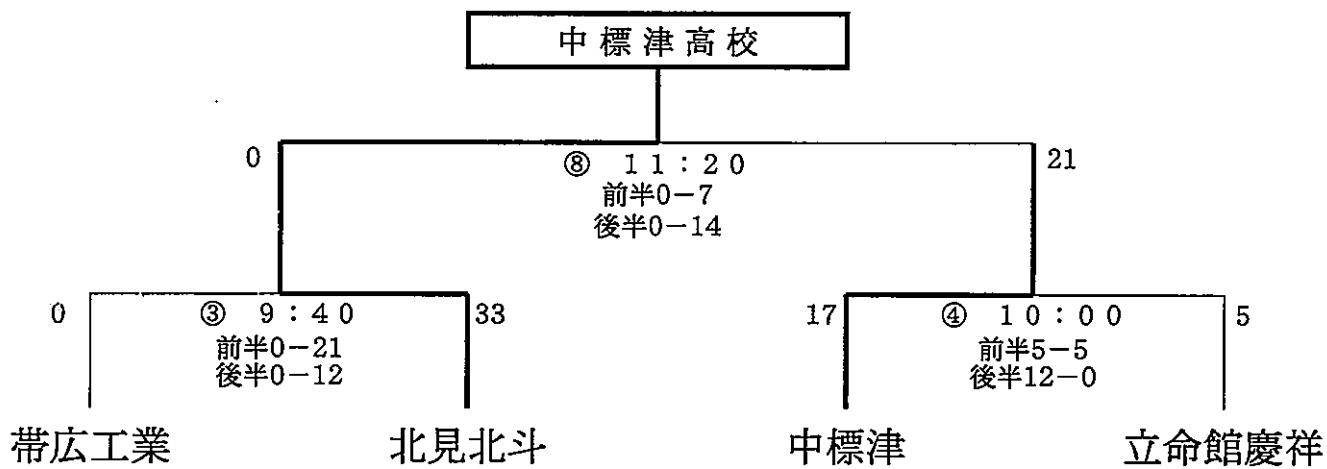
(Bグラウンド) 予選プールD

	帯広工業高校	函館工業高校	小樽桜陽高校	勝ち点	順位
帯広工業高校		×	○ 19-21	3	2
函館工業高校	○ 29-0		○ 45-7	6	1
小樽桜陽高校	○ 12-19	×		1	3

ボウルトーナメント

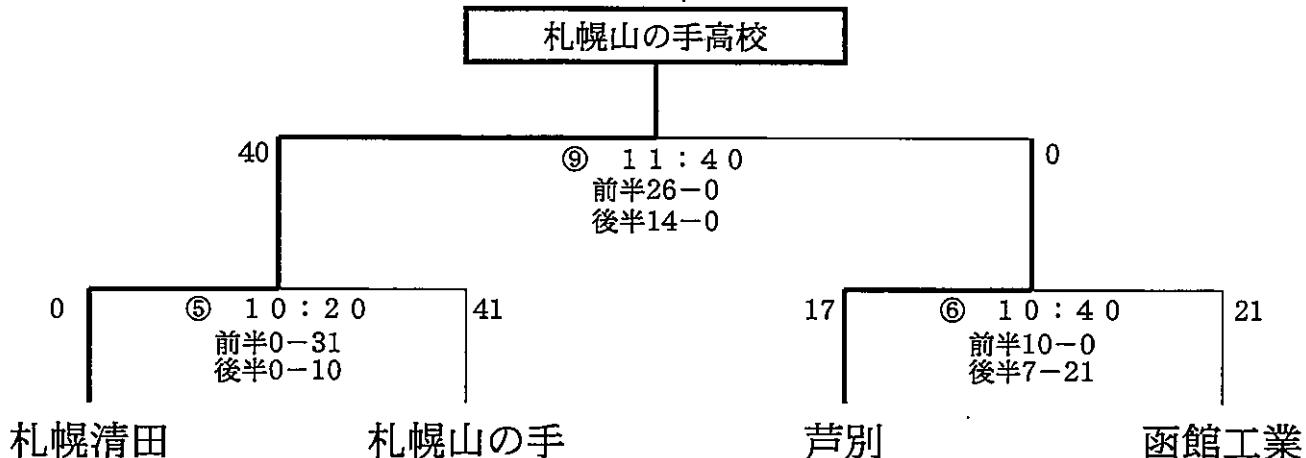


プレートトーナメント



カップトーナメント

札幌山の手高校が全国大会出場 (7/19～長野県菅平)

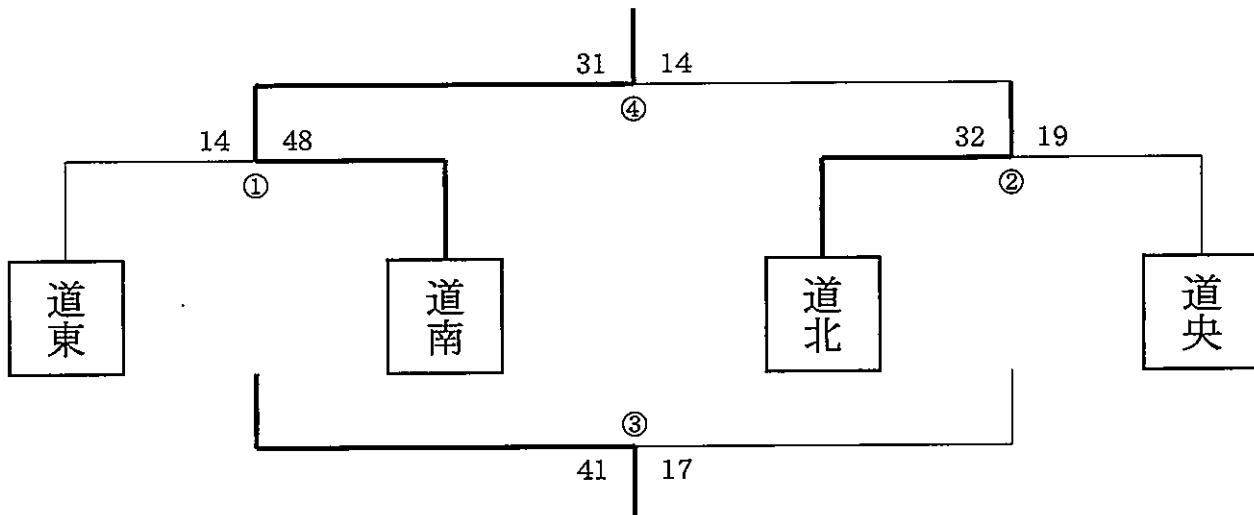


○平成26年度北海道高等学校合同チームラグビーフットボール大会結果

6/14 (土)
 1 2 : 3 0 代表者会議（競技場本部）
 1 3 : 0 0 開会式
 1 4 : 0 0 1回戦第一試合
 1 5 : 0 0 1回戦第二試合
 1 6 : 0 0 競技終了

6/15 (日)
 1 0 : 0 0 敗者戦
 1 1 : 0 0 決勝
 1 2 : 0 0 競技終了
 1 2 : 1 0 表彰・閉会式

組み合わせ ※すべて25分ハーフ



試合①

道東		対			道南	
後	前		前		後	
1	1	T	4	4		
1	1	G	2	1		
0	0	PG	0	0		
0	0	DG	0	0		
7	7	計	24	24		
14		合計	48			
2	6	反則	5	2		
8			7			

試合②

道北		対			道央	
後	前		前		後	
3	3	T	2	1		
0	1	G	1	1		
0	0	PG	0	0		
0	0	DG	0	0		
15	17	計	12	7		
32		合計	19			
4	2	反則	5	2		
6			7			

試合(敗者戦)

道東		対			道央	
後	前		前		後	
3	4	T	1	2		
1	2	G	0	1		
0	0	PG	0	0		
0	0	DG	0	0		
17	24	計	5	12		
41		合計	17			
1	1	反則	2	4		
2			6			

試合(決勝戦)

道南		対			道北	
後	前		前		後	
0	5	T	0	2		
0	3	G	0	2		
0	0	PG	0	0		
0	0	DG	0	0		
0	31	計	0	14		
31		合計	14			
5	2	反則	3	0		
7			3			

○平成26年度北海道体育大会

兼 第69回国民体育大会ラグビーフットボール競技（少年男子の部）北海道予選会

平成26年6月7日・8日 於 帯広の森ラグビー場

U-17

	旭・富・空	北見	十勝・根釧	札・小・胆	函館	勝点	順位
旭・富・空		X 3 - 49	X 0 - 26	X 0 - 31	O 7 - 5	4	4
北見	O 49 - 3		O 25 - 0	X 0 - 28	O 33 - 0	15	2
十勝・根釧	O 26 - 0	X 0 - 25		X 0 - 47	O 20 - 12	9	3
札・小・胆	O 31 - 0	O 28 - 0	O 47 - 0		O 41 - 0	20	1
函館	X 5 - 7	X 0 - 33	X 12 - 20	X 0 - 41		1	5

U-18

	十勝・根釧	札・小・胆	函館	旭・富・空	北見	勝点	順位
十勝・根釧		X 0 - 26	X 0 - 5	O 12 - 7	O 7 - 5	9	2
札・小・胆	O 26 - 0		O 45 - 7	O 36 - 5	O 21 - 0	19	1
函館	O 5 - 0	X 7 - 45		O 14 - 12	X 5 - 31	8	3
旭・富・空	X 7 - 12	X 5 - 36	X 12 - 14		O 24 - 7	6	4
北見	X 5 - 7	X 0 - 21	O 31 - 5	X 7 - 24		5	5

○第41回北海道高等学校選抜ラグビーフットボール大会

平成26年7月26日（土）予選リーグ

7/26（土）予選リーグ

ブ	チーム名	全青森	清田	富良野	勝敗	順位	備考
I	全青森		80 O 0	78 O 0	2勝	1	
II	清田	0 X 80		31 O 7	1勝1敗	2	
A	富良野	0 X 78	7 X 31		2敗	3	

ブ	チーム名	山の手	芦別小樽	帯広工	勝敗	順位	備考
I	山の手		80 O 0	74 O 0	2勝	1	
II	芦別小樽	0 X 80		5 X 41	2敗	3	
B	帯広工	0 X 74	41 O 5		1勝1敗	2	

ブ	チーム名	つくば秀英	立命館慶祥	中標津	勝敗	順位	備考
I	つくば秀英		50 O 0	21 O 15	2勝	1	
II	立命館慶祥	0 X 50		0 X 31	2敗	3	
C	中標津	15 X 21	31 O 5		1勝1敗	2	

ブ	チーム名	科学技術	遠軽	函ラサール	勝敗	順位	備考
I	科学技術		10 O 3	14 △ 14	1勝1分	1	
II	遠軽	3 X 10		22 X 0	1勝1敗	2	
D	函ラサール	14 △ 14	0 X 22		1分1敗	3	

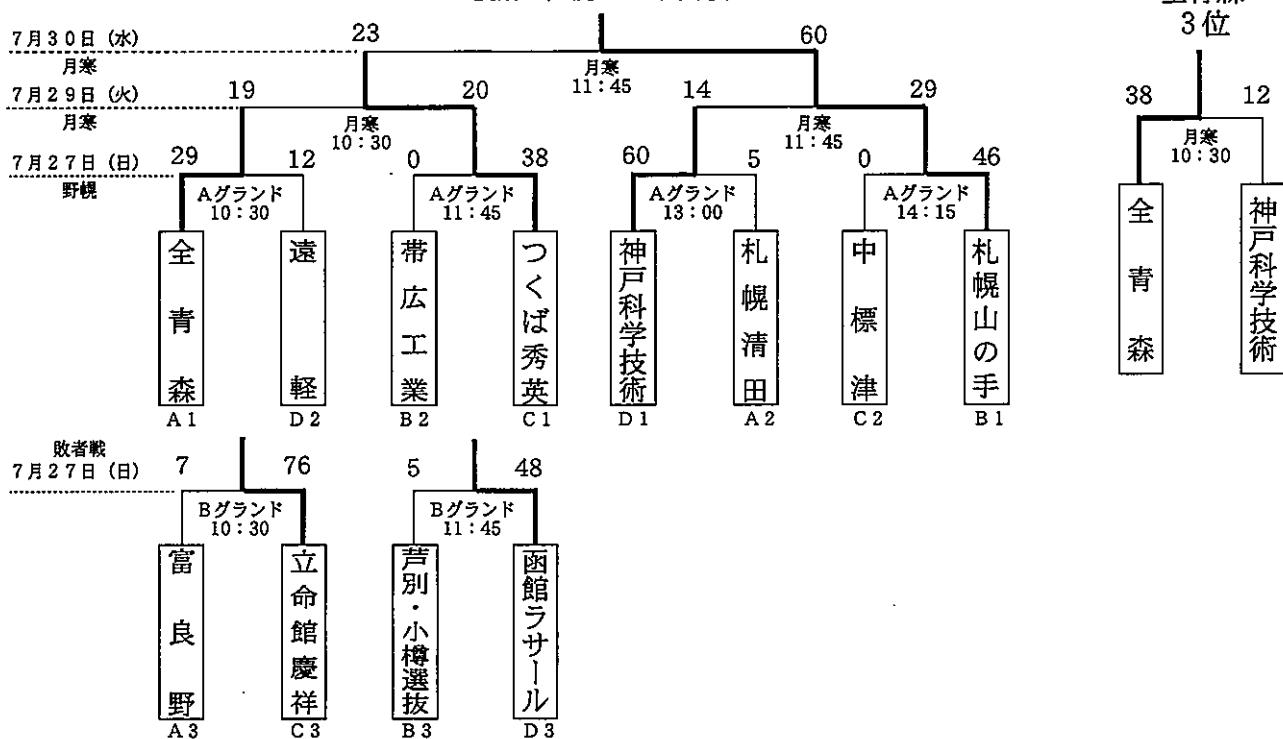
○第41回北海道高等学校選抜ラグビーフットボール大会

期日 平成26年7月27日・29日・30日

会場 野幌運動公園・月寒ラグビー場

決勝トーナメント 7月30日(水)月寒

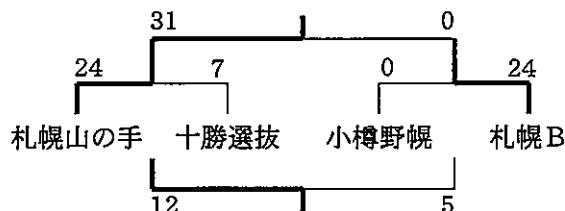
優勝 札幌山の手高校



○第24回北海道高等学校1年生U16ラグビーフットボール大会 北見市南町河川敷ラグビー場

【予選】8月10日(日)

■予選Aグループ



順位	1位	2位	3位	4位
札幌山の手	札幌B	十勝選抜	小樽野幌	札幌B

札幌B…北嶺・札幌清田・札幌南

十勝選抜…帯広工業・帯広柏葉・士幌

小樽野幌…小樽桜陽・野幌

■予選Bグループ

	遠湧	軽別	札幌A	旭川合同	順位
遠湧	X		O 21-7	O 19-5	1
札幌A	X 7-21		X 7-10		3
旭川合同	X 5-19	O 10-7			2

札幌A…札幌厚別・札幌月寒

旭川合同…旭川工業・旭川龍谷・旭川東

■予選Cグループ

	芦別	根北	釧見	三稻	重生	順位
芦別	X	O 24-14		X 0-12		2
根北	X 14-24			X 0-12		3
三稻	O 12-0	O 12-0				1

根北…釧路工業・北見北斗・北見工業・中標津・別海・北見緑陵

■予選Dグループ

	羽幌	函館選抜	札幌C	順位
羽幌	X 5-10	X 0-28		3
函館選抜	O 10-5	X 0-17		2
札幌C	O 28-0	O 17-0		1

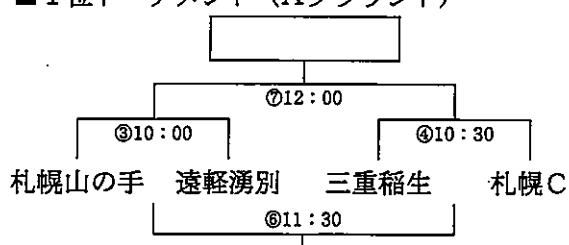
函館選抜…函館工業・市立函館・函大有斗

札幌C…大麻・立命館

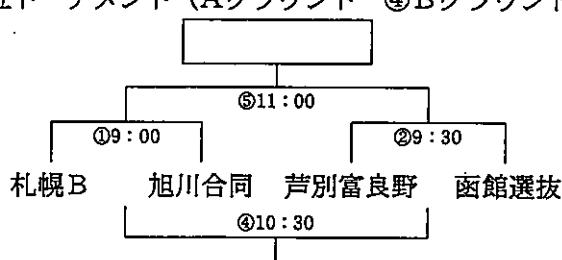
○第24回北海道高等学校1年生U16ラグビーフットボール大会 北見市南町河川敷ラグビー場

【決勝】8月11日★台風の豪雨による中止

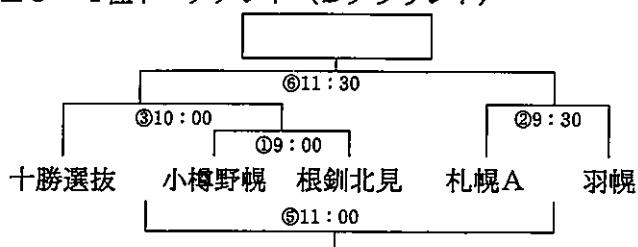
■1位トーナメント (Aグラウンド)



■2位トーナメント (Aグラウンド ④Bグラウンド)



■3・4位トーナメント (Bグラウンド)



○第67回北海道高等学校ラグビーフットボール南・北選手権大会

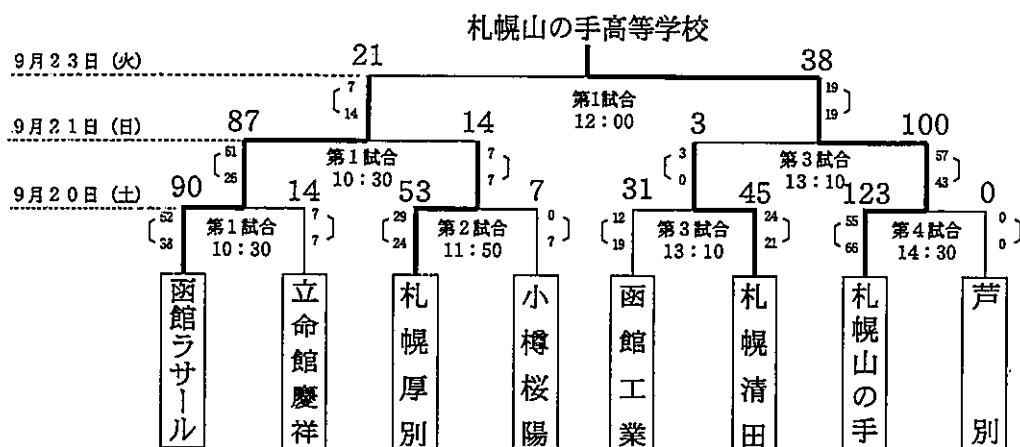
兼第94回全国高等学校ラグビーフットボール大会北海道予選会会結果表

期 日 平成26年9月20日・21日・23日

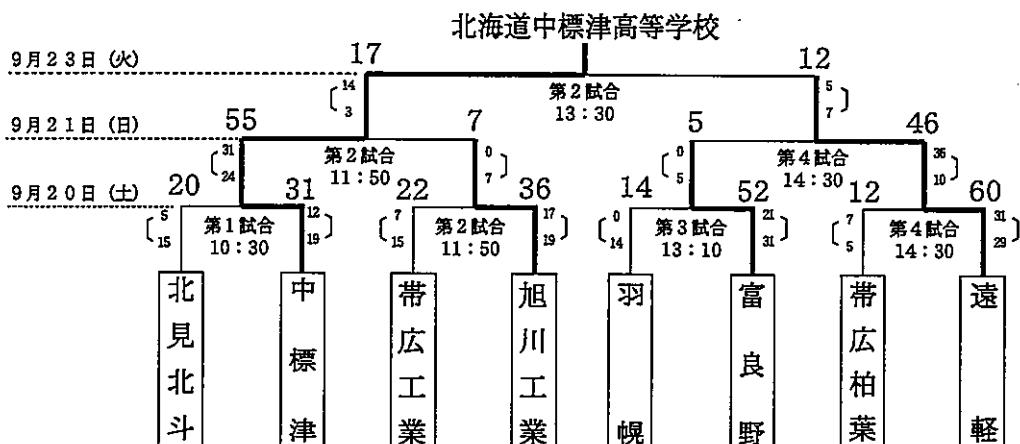
会 場 帯広の森球技場

当番校 北海道帯広工業高等学校

南北海道大会

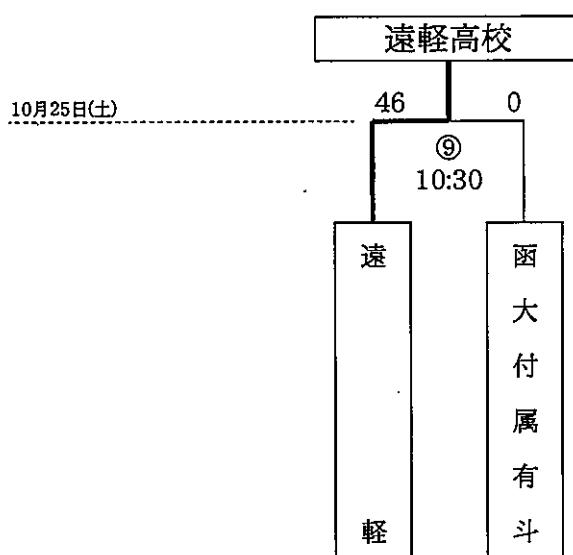
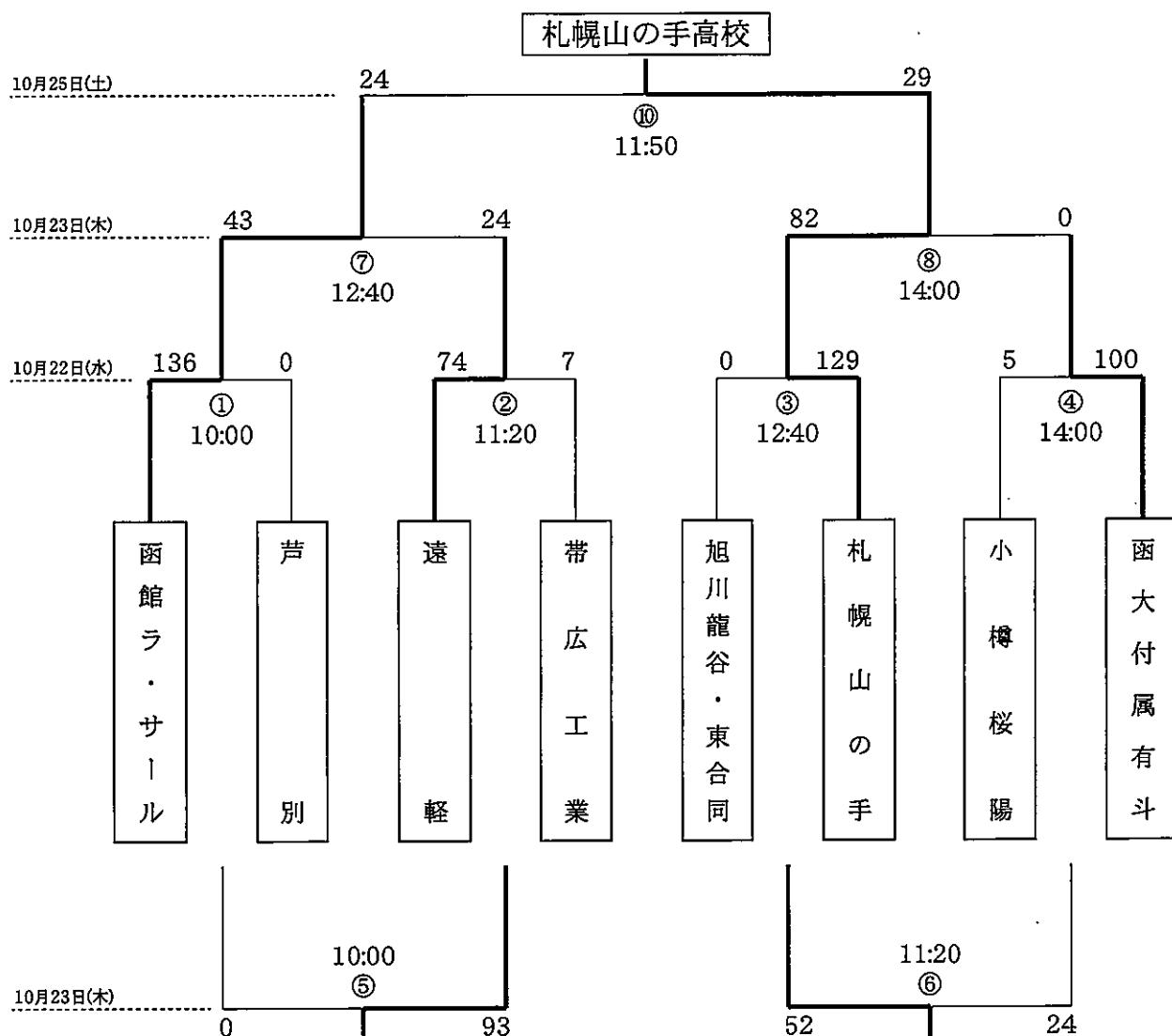


北北海道大会



○第26回第22回北海道高等学校ラグビーフットボール新人大会
兼第16回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会北海道予選大会

函館根崎ラグビー場



○第5回北海道ラグビーフットボール中学校夏季大会

	函館ラ・サール	立命館慶祥	北嶺	順位
函館ラ・サール		②7/5 15:00 4 3 ○ 0	②7/4 15:00 7 1 ○ 1 0	1
立命館慶祥		②7/5 15:00 0 X 4 3	②7/6 11:00 2 1 ○ 1 5	2
北嶺		①7/4 15:00 1 0 X 7 1	②7/6 11:00 1 5 X 2 1	3

①リーグ戦 第1試合 7月4日 15:00 根崎G				
函館ラ・サール		対	北嶺	
後半	前半	ハーフ	前半	後半
7	4	T	1	1
5	3	G	0	0
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
4 5	2 6	計	5	5
7 1		合計	1 0	
1	6	反則	3	4
7			7	

②リーグ戦 第2試合 7月5日 15:00 根崎G				
函館ラ・サール		対	立命館慶祥	
後半	前半	ハーフ	前半	後半
4	3	T	0	0
2	2	G	0	0
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
2 4	1 9	計	0	0
4 3		合計	0	
3	3	反則	7	4
6			1 1	

③リーグ戦 第3試合 7月6日 11:00 根崎G				
立命館慶祥		対	北嶺	
後半	前半	ハーフ	前半	後半
2	1	T	1	2
2	1	G	0	0
0	0	PG	0	0
0	0	DG	0	0
1 4	7	計	5	1 0
2 1		合計	1 5	
4	4	反則	1	2
8			3	

函館ラ・サール				
勝	負	分	点差	トライ
2	0	0	+104	18

立命館慶祥				
勝	負	分	点差	トライ
1	1	0	-37	3

北嶺				
勝	負	分	点差	トライ
0	2	0	-67	5

平成26年度 第5回北海道・東北中学校ラグビーフットボール大会
兼 第5回全国中学生ラグビーフットボール大会 北海道・東北地区予選
期日：平成26年8月30日(土)～8月31日(日)
会場：秋田県八橋運動公園ラグビー場
8月30日(土)
14:00 山形市立第一中(山形県) 12-47 函館ラ・サール中(北海道)
15:00 将軍野中(秋田県) 98-0 滝沢南中(岩手県)
8月31日(日)
10:00 3位決定戦
山形市立第一中(山形県) 31-12 滝沢南中(岩手県)
11:00 決勝戦
函館ラ・サール中(北海道) 7-24 将軍野中(秋田県)
優勝：将軍野中学校

○第33回北海道ラグビーフットボール中学校大会

	函館ラ・サークル	立命館慶祥	北嶺	順位
函館ラ・サークル		③ 9/7 10:00 22 ○ 5	② 9/6 15:30 75 ○ 5	1
立命館慶祥	③ 9/7 10:00 5 X 22		① 9/5 15:00 57 ○ 0	2
北嶺	② 9/6 15:30 5 X 75	① 9/5 15:00 0 X 57		3

①リーグ戦 第1試合 9月5日 15:00 月寒G				
立命館慶祥		対	北嶺	
後半	前半	ハーフ	前半	後半
4	5	T		
3	3	G		
		P G		
		D G		
26	31	計	0	0
57		合計	0	
		反則		0

②リーグ戦 第2試合 9月6日 15:30 月寒G				
函館ラ・サークル		対	北嶺	
後半	前半	ハーフ	前半	後半
7	4	T		1
7	3	G		
		P G		
		D G		
49	26	計	0	5
75		合計	5	
		反則		

③リーグ戦 第3試合 9月7日 10:00 月寒G				
函館ラ・サークル		対	立命館慶祥	
後半	前半	ハーフ	前半	後半
1	3	T	1	
	1	G		
		P G		
		D G		
5	17	計	5	0
22		合計	5	
		反則		0

函館ラ・サークル				
勝	負	分	点差	トライ
2	0	0	+87	15

立命館慶祥				
勝	負	分	点差	トライ
1	1	0	+40	10

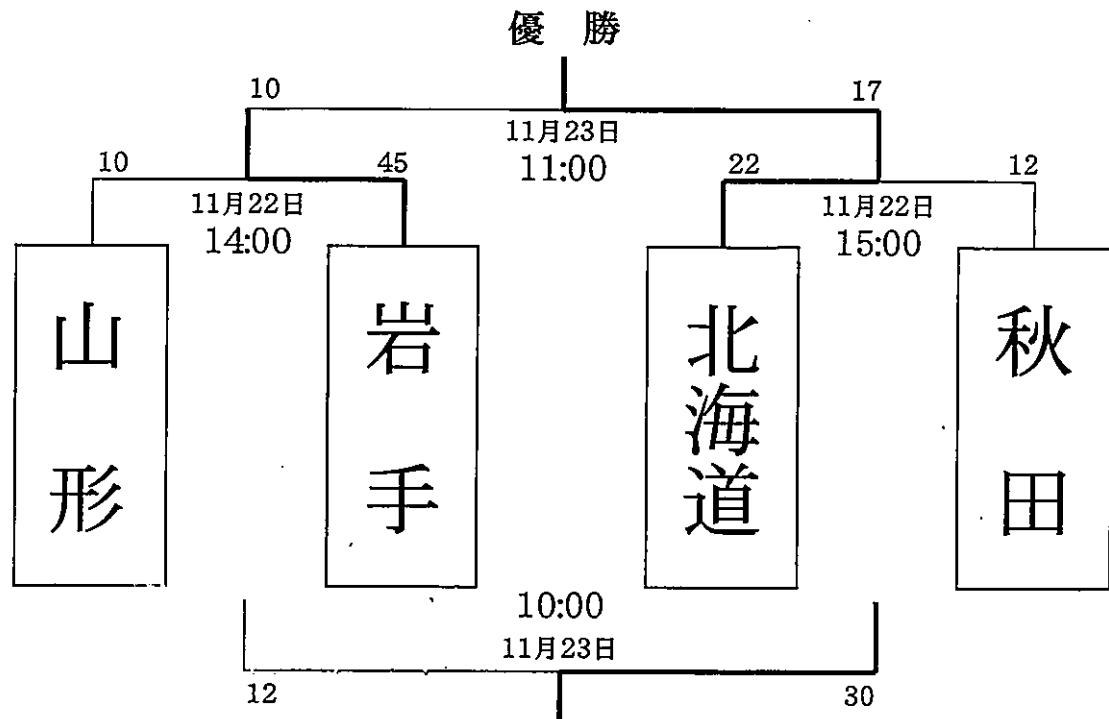
北嶺				
勝	負	分	点差	トライ
0	2	0	-127	1

○第34回東日本中学生ラグビーフットボール大会
第25回東北中学校ラグビーフットボール大会
第9回東北・北海道代表決定戦

会場：山形県総合運動公園グラウンド

10月11日 準決勝 紫波第一中学校(岩手) 14-46 山形第一中学校(山形)
函館ラ・サークル中学校(北海道) 19-24 将軍野中学校(秋田)
12日 3位決定戦 決 勝 紫波第一中学校(岩手) 12-47 函館ラ・サークル中学校(北海道)
山形第一中学校(山形) 10-50 将軍野中学校(秋田)

○第20回全国ジュニア・ラグビーフットボール大会
北海道・東北代表決定戦



準決勝 第1試合				
11月22日 14:00 20分ハーフ				
山形		対	岩手	
後半	前半	ハーフ	前半	後半
1	1	T	4	3
		G	2	3
		PG		
		DG		
5	5	計	24	21
10		合計	45	
		反則		

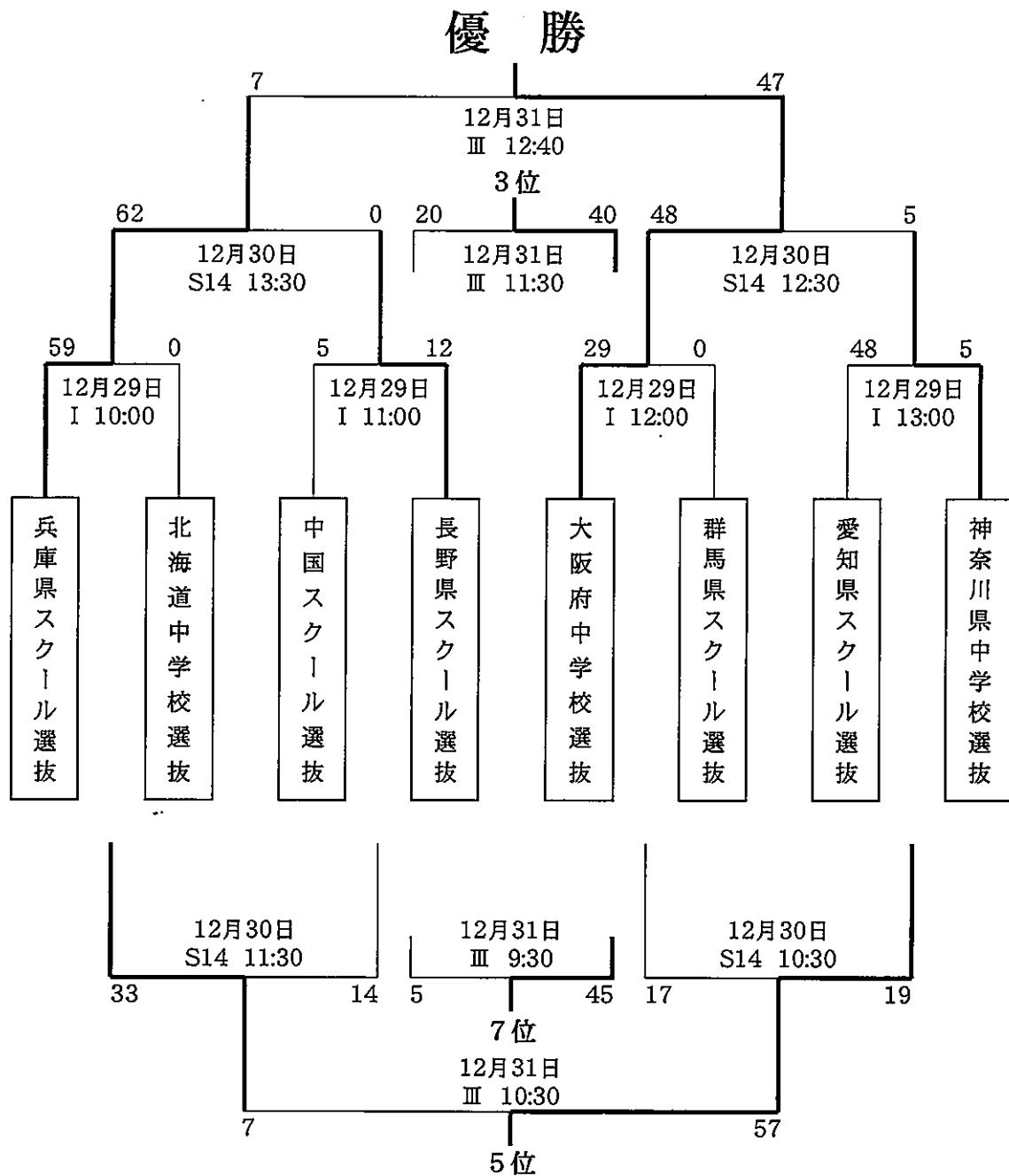
準決勝 第2試合				
11月22日 15:00 20分ハーフ				
北海道		対	秋田	
後半	前半	ハーフ	前半	後半
1	2	T	1	1
	2	G	1	
1		PG		
		DG		
8	14	計	7	5
22		合計	12	
		反則		

三位決定戦				
11月23日 10:00 20分ハーフ				
山形		対	秋田	
後半	前半	ハーフ	前半	後半
2	0	T	2	4
1		G		
		PG		
		DG		
12	0	計	10	20
12		合計	30	
		反則		

決勝戦				
11月23日 11:00 20分ハーフ				
岩手		対	北海道	
後半	前半	ハーフ	前半	後半
2		T	2	1
		G		1
		PG		
		DG		
10	0	計	10	7
10		合計	17	
		反則		

○第20回 全国ジュニア・ラグビーフットボール大会
【第2ブロック】

I : 花園第1グラウンド
III : 花園第3グラウンド
S14 : Jgreen第14フィールド



第26回北海道ラグビースクール小学生大会
ミニラグビー(低学年)結果

9月20日(土) 試合時間 7分-3分-7分

グループA

チーム名	函館・SPO	小樽	美幌	勝敗	順位
函館・SPO		10-15	20-25	2敗	3
小樽	15-10		20-15	2勝	1
美幌	25-20	15-20		1勝1敗	2

グループB

チーム名	帯広	遠軽	旭川	BBJr.	勝敗	順位
帯広		5-55	10-30	0-40	3敗	4
遠軽	55-5		15-20	30-5	2勝1敗	2
旭川	30-10	20-15		15-5	3勝	1
BBJr.	40-0	5-30	5-15		1勝2敗	3

時 間	チーム名	得 点	チーム名
① 12:00~12:20	函館・SPO	10-15	小樽
② 12:20~12:40	帯広	5-55	遠軽
③ 12:40~13:00	旭川	15-5	BBJr.
④ 13:15~13:35	函館・SPO	20-25	美幌
⑤ 13:35~13:55	帯広	10-30	旭川
⑥ 13:55~14:15	遠軽	30-5	BBJr.
⑦ 14:30~14:50	小樽	20-15	美幌
⑧ 14:50~15:10	帯広	0-40	BBJr.
⑨ 15:10~15:30	遠軽	15-20	旭川

9月21日(日)

3位グループ

チーム名	函館・SPO	BBJr.	帯広	勝敗	順位
函館・SPO		20-5	20-5	2勝	5
BBJr.	5-20		25-10	1勝1敗	6
帯広	5-20	10-25		2敗	7

1位・2位グループ

チーム名	小樽	美幌	旭川	遠軽	勝敗	順位
小樽		15-10	10-25	15-20	1勝2敗	3
美幌	11-15		10-15	10-20	3敗	4
旭川	25-10	15-10		0-10	2勝1敗	2
遠軽	20-15	20-10	10-0		2勝1敗	1

時 間	チーム名	得 点	チーム名
① 9:00~9:20	BBJr.	25-10	帯広
② 9:20~9:40	小樽	15-20	遠軽
③ 9:40~10:00	美幌	10-15	旭川
④ 10:15~10:35	函館・SPO	20-5	帯広
⑤ 10:35~10:55	小樽	15-10	美幌
⑥ 10:55~11:15	旭川	0-10	遠軽
⑦ 11:30~11:50	函館・SPO	20-5	BBJr.
⑧ 11:50~12:10	美幌	10-20	遠軽
⑨ 12:10~12:30	小樽	10-25	旭川

**優勝 遠軽ラグビースクール
準優勝 旭川少年ラグビースクール**

第26回北海道ラグビースクール小学生大会
ミニラグビー(中学年)結果

9月20日(土) 試合時間 10分-3分-10分

プールA

チーム名	B B J r.	札幌R S	S P O・小樽R S	勝敗	順位
B B J r.		75 - 0	75 - 5	2勝	1
札幌R S	0 - 75		20 - 55	2敗	3
S P O・小樽R S	5 - 75	55 - 20		1勝1敗	2

プールB

チーム名	帯広R S・A	旭川R S	美幌R S	勝敗	順位
帯広R S・A		55 - 20	60 - 20	2勝	1
旭川R S	20 - 55		15 - 35	2敗	3
美幌R S	20 - 60	35 - 15		1勝1敗	2

プールC

チーム名	函館R S	遠軽R S・山の手R S	帯広R S・B	勝敗	順位
函館R S		30 - 30	60 - 5	1勝1分	1
遠軽R S・山の手R S	30 - 30		50 - 5	1勝1分	2
帯広R S・B	5 - 60	5 - 50		2敗	3

時 間	チーム名	得 点	チーム名
① 12:00~12:23	バーバリアンズジュニア	75 - 0	札幌ラグビースクール
② 12:25~12:48	帯広ラグビースクールA	55 - 20	旭川ラグビースクール
③ 12:50~13:13	函館ラグビースクール	30 - 30	遠軽・山の手合同
④ 13:15~13:38	S P O・小樽合同	55 - 20	札幌ラグビースクール
⑤ 13:40~14:03	美幌ラグビースクール	35 - 15	旭川ラグビースクール
⑥ 14:05~14:28	帯広ラグビースクールB	5 - 50	遠軽・山の手合同
⑦ 14:30~14:53	バーバリアンズジュニア	75 - 5	S P O・小樽合同
⑧ 14:55~15:18	帯広ラグビースクールA	60 - 20	美幌ラグビースクール
⑨ 15:20~15:43	函館ラグビースクール	60 - 5	帯広ラグビースクールB

9月21日(日) 試合時間 10分-3分-10分

チーム名	札幌R S	旭川R S	帯広R S・B	勝敗	順位
札幌R S		40 - 30	20 - 20	1勝1分	8
旭川R S	30 - 40		15 - 40	2敗	9
帯広R S・B	20 - 20	40 - 15		1勝1敗	7

チーム名	S P O・小樽R S	美幌R S	遠軽R S・山の手R S	勝敗	順位
S P O・小樽R S		45 - 5	15 - 30	1勝1敗	5
美幌R S	5 - 45		20 - 45	2敗	6
遠軽R S・山の手R S	30 - 15	45 - 20		2勝	4

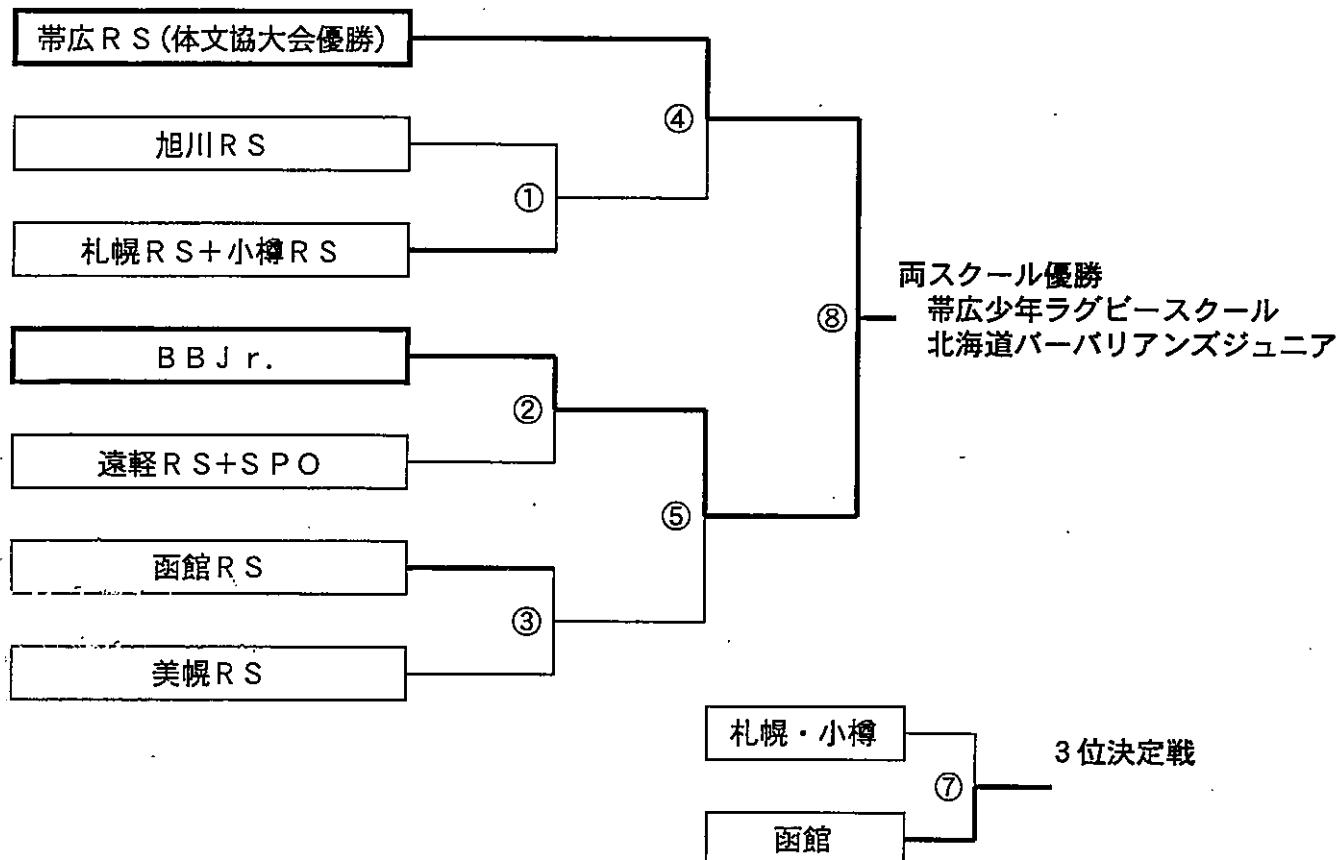
チーム名	B B J r.	帯広R S・A	函館R S	勝敗	順位
B B J r.		80 - 0	80 - 0	2勝	1
帯広R S・A	0 - 80		35 - 15	1勝1敗	2
函館R S	0 - 80	15 - 35		2敗	3

時 間	チーム名	得 点	チーム名
① 9:00~9:23	札幌ラグビースクール	40 - 30	旭川ラグビースクール
② 9:25~9:48	S P O・小樽合同	45 - 5	美幌ラグビー少年団
③ 9:50~10:13	バーバリアンズジュニア	80 - 0	帯広ラグビースクールA
④ 10:15~10:38	旭川ラグビースクール	15 - 40	帯広ラグビースクールB
⑤ 10:40~11:03	美幌ラグビー少年団	20 - 45	遠軽・山の手合同
⑥ 11:05~11:28	帯広ラグビースクールA	35 - 15	函館ラグビースクール
⑦ 11:30~11:53	札幌ラグビースクール	20 - 20	帯広ラグビースクールB
⑧ 11:55~12:18	S P O・小樽合同	15 - 30	遠軽・山の手合同
⑨ 12:20~12:43	バーバリアンズジュニア	80 - 0	函館ラグビースクール

**優 勝 北海道バーバリアンズジュニア
 準優勝 帯広ラグビースクールA**

第26回北海道ラグビースクール小学生大会
ミニラグビー(高学年)結果

試合時間 13分-3分-13分



9月20日(土)

試合番号	時 間	チ ム 名	得 点	チ ム 名
①	12:30~12:59	旭川RS	7 — 55	札幌・小樽合同
②	13:00~13:29	BBJr.	104 — 0	遠軽・SPO合同
③	13:30~13:59	函館RS	98 — 0	美幌RS
④	14:00~14:29	帯広RS	64 — 0	札幌・小樽合同
⑤	14:30~14:59	BBJr.	31 — 7	函館RS

9月21日(日)

試合番号		チ ム 名	得 点	チ ム 名
		旭川RS	17 — 46	遠軽・SPO合同
⑦	3位戦	札幌・小樽合同	0 — 87	函館RS
		旭川RS	30 — 17	美幌RS
⑧	決勝戦	帯広RS	24 — 24	バーバリアンズジュニア
		遠軽・SPO合同	55 — 26	美幌RS

優 勝 帯広ラグビースクール
" 北海道バーバリアンズジュニア

第33回北海道ラグビースクール中学生大会

ジュニアラグビー結果

チーム名	B B J r.	旭・帯・美	札・樽・遠・SPO	函館	勝敗	順位
北海道B B J r.		15 - 20	17 - 20	0 - 33	0勝3敗	4
旭川RS・帯広RS・ 美幌RS	20 - 15		12 - 17	0 - 40	1勝2敗	3
札幌RS・小樽RS・ 遠軽RS・SPO	20 - 17	17 - 12		0 - 57	2勝1敗	2
函館	33 - 0	40 - 0	57 - 0		3勝0敗	1

9月20日(土) 試合時間 17分-5分-17分(U-13エキシビジョン 15分-5分-15分)

時間	チーム名	得点	チーム名
① 12:30~13:10	北海道B B J r.	15 - 20	旭川RS・帯広RS・美幌RS
② 13:20~14:00	札幌RS・小樽RS・遠軽RS・SPO	0 - 57	函館RS
○ 14:10~14:50	U-13(紅)	-	U-13(白)
③ 15:00~15:40	北海道B B J r.	17 - 20	札幌RS・小樽RS・遠軽RS・SPO

9月21日(日) 試合時間 17分-5分-17分(U-13エキシビジョン 15分-5分-15分)

時間	チーム名	得点	チーム名
④ 9:20~10:00	旭川RS・帯広RS・美幌RS	0 - 40	函館RS
○ 10:10~10:50	U-13(紅)	-	U-13(白)
⑤ 11:00~11:40	札幌RS・小樽RS・遠軽RS・SPO	17 - 12	旭川RS・帯広RS・美幌RS
⑥ 11:50~12:30	北海道B B J r.	0 - 33	函館RS

優勝 函館ラグビースクール
" 札幌・小樽・遠軽・SPO合同

B 中央大会、本大会及び他県にわたる試合

○第1回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会

平成26年7月19日～21日 於 長野県上田市菅平高原サニアパーク

予選Dプール 札幌山の手高校 47 - 0 飯田高校

札幌山の手高校 43 - 0 尾道高校

*予選Dプール1位通過カップトーナメントへ

カップトーナメント 1回戦 札幌山の手高校 29 - 17 佐賀工業高校

カップトーナメント 2回戦 札幌山の手高校 15 - 28 御所実業高校

*結果ベスト8

○第10回全国高等学校合同チームラグビーフットボール大会

平成26年8月1日～4日 於 長野県上田市菅平高原サニアパーク

U17予選リーグC

U17ボウルリーグ

北海道 7 - 47 東 北 北海道 48 - 0 四 国

北海道 0 - 72 関 東 北海道 38 - 7 北信越

*3位でボウルリーグに進出 *ボウルリーグ優勝

U18予選リーグ

U18カップリーグ

北海道 5 - 12 東 北 北海道 29 - 5 中 国

北海道 0 - 43 関 東 北海道 0 - 19 北信越

*3位でボウルリーグに進出 *ボウルリーグ2位

○第4回全国高等学校女子7人制ラグビーフットボール大会

平成26年8月2日～3日 於 長野県上田市菅平高原サニアパーク

予選リーグC

ボウルリーグ

北海道・関東 0 - 48 九 州 北海道・関東 32 - 5 四 国

北海道・関東 5 - 24 近 畿 北海道・関東 17 - 12 東 北

*3位でボウルリーグに進出 *ボウルリーグ優勝

○第69回国民体育大会 ラグビーフットボール大会（長崎県）

少年 1回戦（10月17日） 於 かきどまり陸上競技場

北海道 5 - 91 福岡県

成年 予選プール第3ブロック（10月19日） 於 長崎市営ラグビー場

北海道 7 - 43 千葉県

北海道 0 - 35 秋田県

北海道 19 - 22 熊本県

○第94回全国高等学校ラグビーフットボール選手権大会 於 近鉄花園ラグビー場

1回戦 (12月27日)

中標津高等学校 36 - 12 津山工業高等学校(岡山県)

1回戦 (12月28日)

札幌山の手高等学校 14 - 34 佐賀工業高等学校(佐賀県)

2回戦 (12月30日)

中標津高等学校 7 - 117 御所実業高等学校(奈良県)

○第24回東日本クラブ選手権大会

1回戦 (11月2日) 於 熊谷ラグビー場

北海道バーバリアンズ 50 - 14 RKUラグビー龍ヶ崎ドラゴンズ

決勝 (11月16日) 於 秩父宮ラグビー場

北海道バーバリアンズ 41 - 22 神奈川タマリバ

※優勝

○第10回東日本トップクラブリーグ2014

	神奈川 タマリバ	駒 場 W M M	YC&AC	マンダラ 東京	Sharks	RKUラグビー 龍ヶ崎	勝敗	順位
北海道 バーバリアンズ	●27-30	○28-14	○129-0	○126-0	○141-5	○64-14	7勝1敗	2
	タイセイ ハウジー レッズ	北上矢巾 ブレイズ ラガー						
	○84-0	○117-0						

○第22回全国クラブラグビーフットボール大会

2回戦 (1月25日) 於 埼玉県熊谷ラグビー場

北海道バーバリアンズ 111 - 7 岡山ラグビークラブ

準決勝 (2月15日) 於 愛知県瑞穂ラグビー場

北海道バーバリアンズ 24 - 24 六甲ファイティングブル ※トライ数で決勝へ

決勝 (3月1日) 於 埼玉県熊谷ラグビー場

北海道バーバリアンズ 10 - 14 神奈川タマリバクラブ ※準優勝

○第51回全国大学選手権大会北海道・東北代表決定戦

1月4日 於 宮城県サッカー場

北海道大学 5 - 38 東北学院大学

○第65回全国地区対抗大学大会

1回戦 (1月2日) 於 瑞穂運動公園ラグビー場

札幌大学 10 - 64 名城大学

○第45回全国高等専門学校ラグビーフットボール大会

平成27年1月7日～9日 於 兵庫県神戸ユニバー記念競技場

1回戦 (1月7日)

函館工業高等専門学校 12 - 55 佐世保工業高等専門学校

○第15回東日本大学セブンズ選手権大会

平成26年4月13日 於 秩父宮ラグビー場

1回戦 道都大学 10 - 26 東京学芸大学

敗者戦 道都大学 0 - 63 日本大学

○第34回東日本中学校ラグビーフットボール大会 1stステージ（北海道・北東北リージョナルリーグ）
平成26年10月19日 於 青森マエダアリーナ

リーグ戦 第1試合 北海道RS選抜 55 - 0 北東北選抜
リーグ戦 第2試合 北海道RS選抜 5 - 10 岩手県RS選抜
※2位でセカンドステージへ

○第34回東日本中学校ラグビーフットボール大会 2ndステージ
平成26年11月8日 於 千葉県総合スポーツセンター

プレートセミファイナルC

第1試合	北海道RS選抜	44	-	17	埼玉県RS選抜
第2試合	北海道RS選抜	25	-	0	栃木県RS選抜
プレート優勝戦	北海道RS選抜	22	-	19	茨城県RS選抜
第4代表選考試合	北海道RS選抜	0	-	27	群馬県RS選抜

○第34回東日本中学校ラグビーフットボール大会
東北・北海道代表決定戦兼第25回東北中学校ラグビーフットボール大会
平成26年10月11日・12日 於 山形県総合運動公園グラウンド

準決勝(11日)	紫波第一中学校(岩手)	14	-	46	山形第一中学校(山形)
	函館ラ・サール中学校(北海道)	19	-	24	将軍野中学校(秋田)
3位決定戦(12日)	紫波第一中学校(岩手)	12	-	47	函館ラ・サール中学校(北海道)
決勝	山形第一中学校(山形)	10	-	50	将軍野中学校(秋田)

○第20回全国ジュニアラグビーフットボール大会北海道・東北代表決定戦
平成26年11月22日・23日 於 岩手県釜石市球技場

1回戦	北海道中学校選抜	22	-	12	秋田県中学校選抜
決勝	北海道中学校選抜	17	-	10	岩手県中学校選抜

○第20回全国ジュニアラグビーフットボール大会
平成26年12月29日～31日 於 近鉄花園ラグビー場

1回戦	北海道中学校選抜	0	-	59	兵庫県スクール選抜
敗者戦 1回戦	北海道中学校選抜	33	-	14	中国スクール選抜
敗者戦 決勝戦	北海道中学校選抜	7	-	57	愛知県スクール選抜

○サントリーカップ第11回全国小学生タグラグビー選手権大会 決勝大会
平成26年3月7日・8日 於 秩父宮ラグビー場、国立競技場

予選リーグAプール

富良野市立富良野小学校	5	-	1	1	京都市立勧修小学校
富良野市立富良野小学校	7	-	6		日栃市立市浜小学校
富良野市立富良野小学校	4	-	7		都留ラグビースクール
※ * Aプール3位					

予選リーグDプール

帯広市立花園小学校	3	-	1	0	水戸市立梅が丘小学校
帯広市立花園小学校	2	-	1	1	府中市立小柳小学校
帯広市立花園小学校	5	-	6		魚津市立吉島小学校・道下小学校
※ Dプール4位					

シールド決勝トーナメント

1回戦	富良野市立富良野小学校	8	-	1	松山市立東雲小学校
2回戦	富良野市立富良野小学校	7	-	2	読谷村立古堅小学校
決勝戦	富良野市立富良野小学校	8	-	5	仙台市立愛子小学校
1回戦	帯広市立花園小学校	3	-	5	読谷村立古堅小学校
敗者戦	帯広市立花園小学校	6	-	2	松山市立東雲小学校

○第12回東日本U15ラグビーフットボール大会

平成27年 3月14日・15日 於 ケーズデンキスタジアム水戸

第1グループ予選リーグBプール

第1試合	北海道中学選抜	5	-	4	1	東京都RS選抜A	
第2試合	北海道中学選抜	1	2	-	4	1	神奈川県中学選抜A

予選リーグ3位で3位リーグ出場

第1試合	北海道中学選抜	5	-	4	1	茨城県中学選抜	
第2試合	北海道中学選抜	4	3	-	1	5	長野県RS選抜
※3位リーグ 2位							

第2グループ予選リーグ Eプール

第1試合	北海道RS選抜	4	0	-	0	埼玉県中学選抜	
第2試合	北海道RS選抜	5	-	2	2	茨城県RS選抜	
第3試合	北海道RS選抜	1	7	-	1	2	新潟県RS選抜

Eプール2位で3位決定戦へ

3位決定戦	北海道RS選抜	5	-	3	7	千葉RS選抜	※4位
-------	---------	---	---	---	---	--------	-----

○第16回全国高等学校選抜大会 平成27年3月30日～4月7日 於 埼玉県熊谷ラグビー場

予選リーグ	札幌山の手高校	1	2	-	3	3	東海大学第五高校
	札幌山の手高校	1	2	-	4	3	東海大学相模高校
	札幌山の手高校	5	-	6	5		常翔学園高校

北海道ラグビーフットボール協会旅費規程

第1条 役員が会務のため旅行するときは、この規程により旅費を支給する。

第2条 役員とは、会長・副会長・理事（理事長・副理事長を含む）・評議員とする。

第3条 旅費は、旅行の種類により次のとおりとする。

区分	普通旅費	日帰旅費	大会派遣費
構成	交通費・宿泊費	交通費	交通費・宿泊費

第4条 旅費は、出発地と目的地との一般的かつ効率的な順路によって決定する。

ただし、災害・交通障害等やむを得ない事由による場合は、理事長の承認を得て、上記順路を変更することができる。

第5条 交通費は次により支給する。ただし、出発地と目的地が同一支部内の場合は、対象としない。

1. 特別急行料金（新幹線を含む）、普通急行料金を利用したときは、その料金を支給する。
2. 指定席料金は、利用できる区間が片道200km以上で、かつこれを利用したときにその料金を支給する。
3. バスを利用したときは、当該バス料金を支給する。
4. 航空機を利用する場合は、道外への旅行を対象とする。空港～市内営業所間の連絡バス料金を支給する。羽田空港での発着を利用した場合は、羽田空港～浜松町間のモノレール料金を支給する。
5. 旅行の出発地及び目的地における交通費は支給しない。

第6条 宿泊料は1泊7,000円を支給する。

第7条 大会派遣費は、大会に参加する理事がない場合、もしくは大会開催地に大会担当理事が居住していない場合に理事長の指名を受け派遣された理事に支給する。

支給額は、第5条に定める1名の金額を上限として、複数名の派遣を妨げない。

第8条 役員以外の旅費について（例 委員会等）は、本旅費規程に従い理事会で承認された事業費内で支出することを認める。ただし、道協会宛事業報告書の提出を義務づけられる。

以上

本規約は、平成13年7月7日皆済の理事会で承認後から適用される。

北海道ラグビーフットボール協会慶弔見舞金規程

第1条 当協会の慶弔見舞金は、この規程の定めるところによる。

第2条 会員の死亡に際しては、次の区分により会員名の香料並びに花輪を贈る。

① 会員とは、下記に記載する区分に該当する会員をいう。

	区分	花輪	弔電	香料
A	会長・副会長・理事長 顧問（現職・退職者）	本人	○	○ 30,000円
		配偶者 父 母	○	○ 10,000円
B	副理事長（現職・退職者） 現職理事・会計監事	本人	○	○ 10,000円
		配偶者 父 母	×	○ 10,000円
C	退職理事・現職評議員	本人	×	○ 10,000円
		配偶者 父 母	×	○ —
D	委員会の各委員 (含副委員長)	本人	×	○ —
		配偶者 父 母	×	× —

- ② 配偶者には、妻として正式に届出はしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。
- ③ 父母には、義父母・継父母を含む。ただし義父母・継父母を対象とした場合は、実父母を対象としない。
- ④ 上記区分に該当し、同時に2名以上の適用をうける場合は、何れか高い額により、そのうち1名に対して支給する。

第3条 当協会が所属する各団体の役員が死亡した場合、第2条の範囲内で理事長が決定し支給することができる。ただし、支出科目は交際費で処理する。

第4条 第2条の区分に該当する会員の子(養子・継子を含む)が結婚する場合、祝電を発信する。

第5条 第2条の区分に該当するA・Bの会員（本人）が5日以上に渡って病気入院した場合、A…1万円・B…5千円の見舞金を支出する。ただし、同一病気で1回とする。

第6条 本規定に該当しない慶弔見舞金の支出負担が生じた場合は、理事長の専決事項とし、理事長は後日開催の理事会で報告することで支出することができる。

第7条 祝電・弔電の発信については、会長名または理事長名をもって行う。該当事象発生した場合は、庶務担当理事まで報告のこと。

以上

本規程は平成23年3月26日開催の理事会で承認後から適用される。

平成 26 年度収支決算書

北海道ラグビーフットボール協会

平成26年度 収支報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

◎ 収入の部

科 目	内 訳	金 額	備 考
チーム会費収入		2,549,000	登録料
高校	43チーム×@17千円	731,000	
高専	2チーム×@19千円	38,000	
大学	22チーム×@22千円	484,000	
一般	48チーム×@27千円	1,296,000	
関東協会個人会費	@500×3,064名	1,532,000	登録料
個人会費収入	@1,000×3,064名 過年度分5,500円	3,069,500	登録料
日本協会個人登録料	@1,000×3,061名 @500×488名 過年度分2,000円	3,307,000	登録料
傷害マニュアル代	@300×132	39,600	
機関誌購読料	チーム115×@3,000=345,000 レフリー303名×@3,500=1,060,500	1,405,500	
競技規則代		24,000	
レフリー安全保険負担	@1,000×11名	11,000	
理事会費	@5,000×27名	135,000	
参加料収入		15,258,596	
第44回北海道選手権		2,040,000	
第22回大学選手権道予選		440,000	
第16回地区大学セブンズ大会		70,000	
第40回北海道クラブ選手権		225,000	
第41回高校選抜大会		135,000	
第24回高等学校1年生U16大会		104,000	
第22回高等学校新人大会		160,000	
第1回全国高等学校セブンズ道予選		120,000	
第45回全国高専道予選		10,000	
第51回東日本都道県対抗(本大会)		135,000	
第34回東日本ユース中学生大会(1stステージ)		482,000	
第34回東日本ユース中学生大会(2ndステージ)		1,279,000	
第20回全国ジュニア大会北海道東北予選		825,000	
第20回全国ジュニア大会		325,000	
第12回東日本U15ラグビーユニオン大会(ユース)		1,381,000	
第12回東日本U15ラグビーユニオン大会(中学校)		705,000	
第33回北海道中学校大会		30,000	
第11回サントリーカップタグラード大会		36,000	
北海道ラグビースクール大会		135,000	
第5回全国中学校大会北海道予選		6,000	
第69回国体本大会(成年)		210,000	
第69回国体本大会(少年)		967,444	
全国高等学校合同チーム大会		3,491,004	
中学強化合宿		1,116,000	
大学強化講習会		44,000	
研修レフリー自己負担		1,148	
国体予選参加料		786,000	
小計		27,331,196	

◎ 収入の部

科 目	内 訳	金 領	備 考
補 助 金(道体協)収 入		3,769,696	
	国体道予選補助金	87,500	道 体 協
	第69回国体選手派遣事業	2,427,480	" "
	道体協競技力向上推進事業(高校)	737,286	" "
	道体協競技力向上推進事業(中学)	517,430	" "
補 助 金(関東他)収 入		6,178,006	
	国体道予選(少年)開催市補助金	100,000	帯 広 見 市
	第24回高校1年生U16大会開催市補助金	45,000	北 関 東 協 市
	第51回東日本都道県対抗	1,524,512	東 関 東 協 市
	第22回大学選手権道予選	200,000	東 関 東 協 市
	第41回高校選抜大会	200,000	東 関 東 協 市
	第34回東日本カーリング中学生大会(2ndステージ)	550,000	東 関 東 協 市
	第20回全国ジュニア大会	960,000	東 関 東 協 市
	北海道ラグビースクール大会	170,000	日本協会関東協会
	第11回サントリーカップタグ北海道予選	188,494	日本協会
	第12回東日本U15ラグビー大会(カーリング)	220,000	東 関 東 協 市
	第12回東日本U15ラグビー大会(中学校)	220,000	東 関 東 協 市
	U17北海道ブロックトレセン	500,000	日本協会
	全国高等学校合同チーム大会道予選	200,000	東 関 東 協 市
	全国高等学校合同チーム大会	1,100,000	日本協会
負 担 金 収 入		2,066,079	
	国体道予選(少年)開催支部負担金	30,255	十 勝 支 部
	札幌支部負担金	40,000	
	大学学生連盟負担金	726,577	
	高専大会負担金	21,520	
	高校委員会負担金	886,534	
	普及育成委員会	361,193	
広 告 料 収 入		1,478,500	
受 託 業 務 収 入	アマゾン広告・HP広告・協賛金	1,478,500	
	傷害見舞金手数料	77,675	
	傷害見舞金	1,370,000	
	トップリーグ試合運営受託収入	544,520	
招 待 試 合 収 入	慶應義塾大学 VS 明治大学	3,503,500	
雜 収 入		21,567	
	ロゴ使用料、ネクタイ販売手数料、寄付金他 受取利息	20,875	
		692	北海道・北洋銀行普通預金
小 計		19,009,543	
合 計		46,340,739	

◎ 支出の部

科 目	内 訳	金 額	備 考
試 合 経 費		7,331,054	
	第44回北海道選手権	1,182,524	
	北海道ラグビーフェスティバル・女子セブンズ	203,568	
	第22回大学選手権道予選	1,224,064	関東協会補助事業
	北海道道地区大学春季大会	111,191	
	第16回地区大学セブンズ	241,322	
	第40回北海道クラブ選手権	211,391	
	第45回高専大会道予選	31,520	
	第41回高校選抜大会	686,156	関東協会補助事業
	第69回国体道予選(少年)	797,455	
	第33回北海道中学校大会	72,299	
	第5回全国中学校大会北海道予選	31,000	
	第24回高等学校 1年生U16大会	235,001	
	第22回高等学校新人大会	342,500	
	第1回高等学校セブンズ北海道予選	349,569	
	北海道ラグビーカップ大会	330,000	関東協会補助事業
	第11回サントリーカップタガ北海道大会	188,494	日本協会補助事業
	第20回全国ジュニア大会北海道・東北予選 慶應義塾大学 VS 明治大学	1,093,000 4,743,131	
招 待 試 合 支 出			
大 会 补 助 金		20,812,362	
	第51回東日本都道県対抗(本大会)	2,076,735	関東協会主催事業
	第34回東日本カール中学生大会(1stステージ)	697,472	関東協会主催事業
	第34回東日本カール中学生大会(2ndステージ)	2,260,109	関東協会主催事業
	第20回全国ジュニア大会	1,407,702	日本協会補助事業
	第12回東日本U15ラグビーチーム大会(カール)	1,875,248	関東協会主催事業
	第12回東日本U15ラグビーチーム大会(中学校)	1,100,442	関東協会主催事業
	全国高等学校合同チーム大会道予選	219,813	関東協会補助事業
	全国高等学校合同チーム大会	6,352,965	日本協会主催事業
	第69回国体本大会(成年)	1,259,796	道体協補助事業
	第69回国体本大会(少年)・直前合宿	3,562,080	道体協補助事業
普 及 指 導 ・ 強 化		3,245,366	
	レフリー強化費	954,947	
	コーチ養成強化費	181,835	
	東日本都道県対抗兼国体代表候補セレクション	48,200	
	成年強化費 (強化試合・強化合宿)	143,829	
	大学強化講習会	87,000	
	U17北海道ブロックトレセン	555,080	日本協会補助事業
	中学強化合宿費(第1次~第3次)	1,167,650	
	北海道タグラグビーレフリートレセン	59,912	
	表彰費	46,913	
小 計		36,131,913	

◎ 支出の部

科 目	内 訳	金 額	備 考
登 錄 金		6,394,150	
関東協会費(チーム)	@1,000×132件	132,000	関 東 協 会
関東協会費(個人会費)	@500×3,064名	1,532,000	関 東 協 会
個 人 登 錄 料	@1,000×3,061名 @500×488名	3,305,000	日 本 协 会
機 関 誌 代	@2,700×429冊	1,158,300	日 本 协 会
競 技 規 则 代	@400×394	197,000	関 東 协 会
傷 害 マ ニ ュ ア ル 代	@300×165	49,500	
レフリー安全保険代	@1,850×11	20,350	
傷 害 見 舞 金	登録者傷害見舞金制度	1,370,000	
納 付 金		624,500	道 体 協
	道体協負担金	247,000	"
	国体予選参加負担金	196,500	"
	傷害補償制度負担金	181,000	
経 費		2,640,830	
旅 費		1,012,570	
会 議 費		87,270	
通 信 費		136,232	
公 租 公 課		0	
印 刷 費		398,480	
事 務 所 経 費		45,747	
支 払 手 数 料		53,439	
事 務 用 品 費		3,190	
慶弔見舞金		96,740	
器 具・備 品 費		0	
消 耗 品 費		57,162	
交 際 費		50,740	
集 会 費		0	
寄 付 金		0	
運 送 費		28,372	
広 告 宣 伝 費		32,400	
被 服 費		222,328	
H P 維持管理費		360,000	
修 繕 費		56,160	
小 計		11,029,480	
合 計		47,161,393	
平成26年度収支		▲ 820,654	
前 期 繰 越 金		5,559,916	
次 期 繰 越 金		4,739,262	

会 費 収 入 内 記

会費収入 ₪11,902,600円 (平成26年度登録金)

																			合 計
																			合 計
高 横 桜 @17,000	高 専	大 学 生クラブ @22,000	大 学 生クラブ @27,000	社 会 人	一 般 クラブ 女子クラブ @27,000	機 関	紙 傷 マニユアル @3,000 登録料@300	日本協会個人	関東協会個人	道協会個人									
函 館 9	1	0	1	1	5	17	17	98	337	337	337	337	337	337	337	337	337		
胆 振 1	0	0	1	0	1	3	3	60	0	60	60	60	60	60	60	60	60		
小 櫻 2	0	1	0	0	27,000	71,000	9,000	900	60,000	0	30,000	60,000						230,900	
札 幌 11	0	0	22,000	0	81,000	137,000	18,000	7	178,000	28	178	178	178,000					616,100	
空 知 2	0	0	12	4	15	42	42	49	1,341	138	1,344	1,344						4,530,700	
旭 川 4	1	3	66,000	27,000	81,000	261,000	36,000	3,900	299,000	37	299	299	299,000					322,500	
富 良 野 1	0	0	0	1	2	12	12	13	299									1,066,900	
十 勝 3	0	1	0	0	3	7	7	8	212	44	212	212						1,98,100	
釧 根 4	0	2	1	3	10	10	2	59	0	59	59	59						729,400	
北 見 6	0	0	44,000	27,000	81,000	220,000	30,000	3,300	185,000	30,500	92,500	92,500						746,300	
過年分											40,000	151,000						1,089,500	
レフリ一											2,000							7,500	
合 計	43	2	22	9	39	115	418	1,060,500	488	3,064	3,064	3,064						1,060,500	
	731,000	38,000	484,000	243,000	1,053,000	2,549,000	1,405,500	39,600	3,061,000	246,000	1,532,000	3,069,500	3,069,500					11,902,600	

経 費 内 訳

事務所経費	45,747円
道体協事務所経費(事務所使用料、電気料他)	
印刷費	398,480円
事業報告	230,000
会員名簿	168,480
通信費	136,232円
事務所電話料	35,510
ホームページOCN通信料(12カ月)	59,234
切手・はがき・弔電	41,488
会議費	87,270円
会計監査	8,088
評議員会	46,440
理事会他	32,742
旅費・交通費	1,012,570円
評議員会(1回)	192,800
理事会(3回)	370,930
普及育成員派遣交通費(サントリーカップ引率)	60,920
関東協会等出張旅費(1回)	80,140
普及委員会会議交通費(2回)	175,480
社会人クラブ委員会会議交通費(1回)	37,000
ゴールデンオールディズ会議交通費(1回)	44,000
その他交通費・駐車場代他	51,300
その他	960,531円
交際費(マスコミとの懇親、道体協新年交礼会)	50,740
慶弔見舞金(香典・供花)	96,740
消耗品費(封筒・名刺・プリンターインク他)	57,162
事務用品費	3,190
支払手数料(振込手数料、両替手数料他)	53,439
運送費(宅急便代、メール便代)	28,372
被服費(北海道代表ジャージ代)	222,328
広告宣伝費(新聞広告3件)	32,400
HP維持管理費(HP更新料・管理料)	360,000
修繕費	56,160
合計	2,640,830円

財産目録

負債目録

種目	金額
現 金	0
道銀普通預金	4,140,025
北洋銀普通預金	536,937
ネクタイ(16本)	42,000
未収入金(チーム登録金)	20,300
合 計	4,739,262

種目	金額

備品目録

テ ン ト 机	12張 4脚
椅 子	20脚
パソコン一式 複合プリンタ一	1台 1台

個別会計報告

第44回北海道選手権大会収支報告(H26.6.28~7.6)

主管 札幌支部

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
参加費@30千円×68チーム	2,040,000	グランード使用料	131,850
広告・協賛金(5社)	150,000	大会運営費	469,935
		印刷費	440,640
		会議費	127,737
		事務・通信費	12,362
		剩余金道協会納付	1,007,476
合 計	2,190,000	合 計	2,190,000

第69回国民大会(少年)道予選収支報告(H26.6.17~18)

主管 帯広支部

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道協会補助金	171,000	運営・設備費	189,240
帯広市補助金	100,000	印刷費	162,000
十勝協会補助金	30,255	食料費	49,818
大会参加料(@2,000×138名 U18)	276,000	事務・通信費	31,397
大会参加料(@2,000×155名 U17)	310,000	交通費・宿泊費	55,000
大会参加料(@20,000×10チーム)	200,000	高校委員会会計(U17参加料)	310,000
合 計	1,087,255	道体協納付金	289,800
		合 計	1,087,255

第40回北海道クラブ選手権大会(H26.5.25~10.19)

主管 札幌支部他

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
参加料@25千円×9チーム	225,000	グラウンド使用料	6,200
預金利息	9	レフリー等交通費	131,000
		ボール代	54,000
		食料費・消耗品費	2,896
		トロフィー一代	11,804
		事務費・通信費等	5,491
		剰余金道協会納付	13,618
合計	225,009	合計	225,009

第22回全国大学選手権大会予選 リーグ戦収支報告(H26.9.13~10.19)

主管 大学委員会他

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
関東協会補助金	200,000	グラウンド使用料	134,840
参加料@30千円×6チーム	180,000	レフリー交通費	302,000
参加料@20千円×13チーム	260,000	交通費補助	113,000
学生連盟負担金	564,064	印刷費	314,064
札幌支部負担金	20,000	昼食費・飲料水等	97,626
		ドクター・カメラマン謝礼	70,000
		表彰費	81,000
		ボール代、ペイント代、事務費	111,534
合計	1,224,064	合計	1,224,064

第16回地区大学セブンズ大会収支報告(H26.7.27)

主管 大学委員会他

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
参加料@5千円×14チーム	70,000	グラウンド使用料	53,200
学生連盟負担金	151,322	交通費	36,500
札幌支部負担金	20,000	昼食費	19,570
		印刷費	70,820
		ドクター・カメラマン謝礼	50,000
		表彰費	11,232
合計	241,322	合計	241,322

平成26年度地区大学春季交流大会収支報告(H26.5.4~7.13)

主管 大学委員会

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道協会補助金	100,000	グラウンド使用料	12,000
学生連盟負担金	11,191	交通費	74,500
		昼食費	24,691
合計	111,191	合計	111,191

第45回全国高専大会道予選収支報告(H26.10.11)

主管 函館支部

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
参加料 @5千円×2チーム	10,000	審判謝礼	4,000
高専体育大会負担金	12,726	弁当代	4,794
後援会補助	8,794	ボル代	20,655
		消耗品費	2,071
合計	31,520	合計	31,520

第41回北海道高等学校選抜大会収支報告(H26.7.26~30)

主管 札幌支部

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
関東協会補助金	200,000	招待チーム補助金	300,000
道協会補助金	351,156	グラウンド使用料	168,500
参加料@15千円×9チーム	135,000	昼食費	127,174
		印刷費	86,400
		会議費	1,820
		通信費	2,262
合計	686,156	合計	686,156

第24回高等学校1年生U16大会収支報告(H26.8.9~11)

主管 北見支部

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道協会補助金	86,000	運営費	177,301
北見市補助金	45,000	印刷費	43,200
参加料@8千円×13チーム	104,000	昼食費	13,500
高校委員会	1	事務通信費	1,000
合計	235,001	合計	235,001

第22回高等学校新人戦大会収支報告(H26.10.22~25)

主管 函館支部

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道協会補助金	129,000	運営費	13,000
参加料@20千円×8チーム	160,000	宿泊費・交通費	152,000
広告代(3社)	45,000	印刷費	50,000
プログラム販売代@500×17	8,500	食料費	116,573
		事務通信費・消耗品費	7,917
		高校委員会	3,010
合計	342,500	合計	342,500

第1回全国高等学校7人制北海道予選会収支報告(H26.6.7~8)

主管 札幌支部

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道協会補助金	129,000	交通費	164,200
参加料(@10,000×12チーム)	120,000	宿泊費	50,600
広告料・協賛金	100,000	印刷費	57,240
高校委員会負担金	569	昼食代	43,764
		報償費	12,636
		通信費	21,129
合計	349,569	合計	349,569

第5回全国中学校大会 北海道予選会収支報告(H26.7.4~6)

主管 函館支部

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道協会補助金	25,000	ボルダーライダーレンタル	21,900
参加料 @2,000×3校	6,000	ポートフォイユ	4,536
		印刷代	3,766
		事務代	798
合計	31,000	合計	31,000

第33回中学校大会収支報告(H26.9.5~7)

主管 札幌支部

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道協会補助金	42,299	レフリートラベル	3,000
参加料 @1,000×3校	30,000	ボルダーライダーレンタル	21,000
		ポートフォイユ	10,433
		会場費	36,750
		事務費	1,116
合計	72,299	合計	72,299

北海道バービークル大会（小学生第26回・中学生第33回）(H26.9.20~21)

主管 札幌支部

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
日本協会補助金	70,000	競技運営費	99,860
関東協会補助金	100,000	会場設営費	144,720
参加料(15千円×9チーム)	135,000	印刷刷耗費	80,190
協賛広告	25,000	消耗品費	5,230
合計	330,000	合計	330,000

第11回北海道小学生タケ・カ・ビ選手権大会

兼サントリーカップ第11回全国小学生タケ・カ・ビ選手権大会北海道ブロック大会(H27.1.12)

主管 札幌支部他

収入の部		支出の部		
摘要	金額	摘要	金額	
日本協会補助金	100,000	会場使用料	35,100	
日本協会補助金(追加分)	88,494	交通費	28,000	
参加料	36,000	弁当代	18,000	
		印刷代	32,886	
		保険料	11,100	
		夕グセツト	22,140	
		事務費・消耗品費他	41,268	
		北海道協会へ戻し入れ	36,000	
合計	224,494	合計	224,494	

北海道協会普及・指導・強化事業収支報告

北海道地区大学連盟強化講習会（札幌市 H26.5.11～12）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道協会補助金 参加費	43,000 44,000	交通費・宿泊費 食料費 ドクターチェック 学連会計へ	49,000 8,457 10,000 19,543
合計	87,000	合計	87,000

U17北海道ブロックトライアウト（帯広市H26.6.14～16）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
日本協会補助金 高校委員会	500,000 55,080	宿泊費 会場使用料 昼食代 通信費・消耗品費他	514,800 15,150 6,660 18,470
合計	555,080	合計	555,080

セブンスマーティングおよび代表候補セレクションマッチ（札幌市H26.6.1）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道協会補助金	48,200	交通費 一ルート事務	29,000 18,000 1,200
合計	48,200	合計	48,200

北海道代表候補強化試合（札幌市H26.7.12～13）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道協会補助金	117,829	交通費 宿泊費 参加費 消耗品費	8,000 77,000 30,000 2,829
合計	117,829	合計	117,829

第69回国民体育大会（成年）直前合宿（札幌市H26.7.12～13）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道協会補助金	26,000	交通費	26,000
合計	26,000	合計	26,000

レフリー・サエティ

第1回レフリー研修会（札幌市 H26.6.14～15）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道協会補助金	121,521	グラウンド・研修室使用料	32,820
		宿泊費補助	11,038
		交通費補助	25,000
		講師交通費・宿泊費	45,659
		事務費	7,004
合計	121,521	合計	121,521

第2回レフリー研修会（江別市他 H26.6.26～7.6）

主管 札幌支部

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道協会補助金	163,914	宿泊費	50,560
		交通費	44,541
		講師謝礼	40,000
		食費・消耗品費	28,813
合計	163,914	合計	163,914

第3回レフリー研修会（江別市他 H26.7.25～30）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道協会補助金	147,782	講師宿泊費	21,044
		宿泊費補助	48,000
		交通費	15,440
		交通費補助	59,280
		消耗品費	4,018
合計	147,782	合計	147,782

第4回レフリー研修会（札幌市 H27.1.16～17）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道協会補助金	87,896	講師宿泊費	20,976
参加者負担金	328	宿泊費	16,328
		交通費	32,920
		交通費補助	18,000
合計	88,224	合計	88,224

レフリー各種経費

- ◎レフリー委員会会議費 52,517円
- ◎レフリー委員会交通費補助 173,080円
- ◎レフリー・アセッサー派遣補助 39,648円
- ◎B級認定講習会派遣補助 90,000円
- ◎通信費 4,115円
- ◎トランシーバー 74,146円

小計 433,506円

総合計 954,947円

コーチソサエティ

第1回コーチ委員会 (札幌市 H26.12.6)

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道協会補助金	37,320	交會場通費用 料	29,760 7,560
合計	37,320	合計	37,320

第2回コーチ委員会 (札幌市 H27.2.21)

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道協会補助金	90,660	交會場通印用刷費	70,340 9,160 11,160
合計	90,660	合計	90,660

プラスアップ研修会 (帯広市 H26.7.13)

(日本協会)

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
参加者受講料(@3,000×6名)	18,000	振込料・助手交通費 日本協会へ納付	4,640 13,360
合計	18,000	合計	18,000

プラスアップ研修会 (札幌市 H26.4.4 27.1.17)

(日本協会)

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
参加者受講料(@3,000×3名)	9,000	日本協会へ納付	9,000
合計	9,000	合計	9,000

新スタートコーチ資格認定講習会 (帯広市 H26.4.21)

(日本協会)

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
参加者受講料(@3,000×16名)	48,000	助手交通費・会場使用料 日本協会へ納付	6,735 41,265
合計	48,000	合計	48,000

コーチ委員会・安全対策委員会各種経費

◎安全推進講習会交通費 51,290円

◎資料郵送料 1,377円

◎振込手数料 1,188円

小計 53,855円

道協会負担額合計 181,835円

平成26年度第1回スクール中学生強化合宿（江別市H26.8.23～24）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
参加者負担金	402,000	指導者・選手交通費・宿泊費 グラウンド使用料 食費 トレーナー謝礼 消耗品費他 第2次合宿へ繰越	227,100 12,900 104,550 5,000 800 51,650
合計	402,000	合計	402,000

平成26年度第2回スクール中学生強化合宿（江別市H26.10.4～5）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
参加者負担金	289,000	指導者・選手交通費・宿泊費	175,400
第1次合宿からの繰越	51,650	グラウンド使用料	12,900
		食費	79,950
		通信費	6,000
		消耗品費他	928
		東日本中学生大会へ繰越	65,472
合計	340,650	合計	340,650

平成26年度U15中学生スクール選抜合宿（江別市H27.2.7～8）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
参加者負担金	425,000	指導者・選手交通費・宿泊費	258,000
		グラウンド使用料	20,000
		トレーナー等謝礼	15,000
		食費	112,750
		消耗品費	432
		東日本U15大会へ繰越	18,818
合計	425,000	合計	425,000

平成26年度タグラグビーレフリー講習会（札幌市 H26.8.24）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道協会補助金	59,912	講師謝礼（2名）	10,000
		運営費	5,320
		印刷費	1,000
		タグセツト	37,260
		郵送料、保険料	6,332
合計	59,912	合計	59,912

北海道体育協会競技力向上事業収支報告

第69回国民体育大会 少年（長崎市H26.10.14～18）および国体少年直前強化合宿

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道体協補助金	2,063,526	交通費	1,868,000
個人負担金	967,444	宿泊費	1,352,536
高校委員会負担金	531,110	昼食費	125,954
		ポロシャツ・短パン代	166,670
		運送費	2,168
		トレーナー日当	35,000
		消耗品費、事務費等	11,752
合計	3,562,080	合計	3,562,080

第69回国民体育大会 成年（長崎市H26.10.18～20）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道体協補助金	669,240	交通費	655,963
道協会補助金	380,556	宿泊費	470,480
参加者負担金(@15,000×14名)	210,000	昼食費	9,150
		消耗品費	69,276
		事務費	34,191
		代表運送費	20,736
		ポロシャツ	
合計	1,259,796	合計	1,259,796

第20回全国ジュニア大会北海道東北代表決定戦（釜石市H26.11.22～23）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道体協補助金	168,000	交通費	605,800
道協会補助金	100,000	宿泊費	362,232
個人負担金	825,000	昼食費	65,772
		参加費	15,000
		運営費	21,494
		本大会へ繰越	22,702
合計	1,093,000	合計	1,093,000

関東協会主催事業収支報告

第51回東日本道県対抗大会(八幡平市H26.7.18~21)

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
関東協会補助金	1,524,512	交通費	1,760,370
道協会補助金	417,223	宿泊費	39,500
参加者負担金 @5,000×27	135,000	運送費	19,670
		レセプション用ポロシャツ	49,248
		消耗品費・医薬品費	89,474
		洗濯代・お土産代他	3,507
		昼食費	94,336
		ボーナル代	20,630
合計	2,076,735	合計	2,076,735

第34回東日本中学生大会(スクールの部)(東北北海道予選)(青森市 H26.10.18~19)

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
道協会補助金	150,000	交通費	270,980
個人負担金	370,000	宿泊費(45名)	256,500
帯同保護者負担金	112,000	弁当代、補食費	30,047
第2次強化合宿繰越金	65,472	指導員、医務謝礼(6名)	25,000
		事務費	7,836
		2ndステージへ繰越	107,109
合計	697,472	合計	697,472

第34回東日本中学生大会(スクールの部)(2ndステージ)(千葉県スポーツセンター H26.11.8~9)

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道体育協会補助金	174,000	交通費、宿泊費	1,922,823
関東協会補助金	550,000	交通費等補助	30,000
道協会補助金	150,000	昼食費	34,800
個人負担金	1,279,000	指導員、トレーナー他謝礼	190,920
1stステージ繰越金	107,109	消耗品費・通信費他	20,945
		次期遠征費用等へ繰越	60,621
合計	2,260,109	合計	2,260,109

第12回東日本U15中学生ラグビー選抜大会(スクール選抜)(水戸市H27.3.14~15)

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
北海道体育協会補助金	175,430	交通費(航空機、バス)	1,323,240
関東協会補助金	220,000	宿泊費(27名)	289,950
道協会補助金	80,000	参加費	13,000
参加者負担金	1,381,000	昼食費	39,200
前回合宿繰越金	18,818	メディカル、コーチ等謝礼	115,000
		補食費・消耗品費	31,374
		次期遠征費用等へ繰越	63,484
合計	1,875,248	合計	1,875,248

第12回東日本U15中学生ラグビー選抜大会（中学校選抜）（水戸市H27.3.14～15）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
関東協会補助金	220,000	交通費(航空機、バス)	823,870
道協会補助金	80,000	宿泊費(28名)	114,520
参加者負担金	705,000	参加費	13,000
普及育成繰越金	95,442	昼食費	39,200
		練習会場利用料	4,200
		消耗品費・運送費等	6,420
		次期遠征費用へ繰越	99,232
合計	1,100,442	合計	1,100,442

全国高校合同大会北海道予選会（帯広市H26.6.14～15）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
関東協会補助金	200,000	交通費	110,000
高校委員会負担金	19,813	宿泊費	25,200
		報償費	2,000
		会場使用料	6,900
		食料費	22,213
		ボル代・消耗品費	53,500
合計	219,813	合計	219,813

日本協会主催事業収支報告

第20回全国ジュニアラグビーフットボール大会（中学校選抜）（東大阪市H26.12.28～31）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
日本協会補助金	780,000	交通費(航空機、バス他)	464,440
関東協会補助金	180,000	宿泊費(29名)	696,000
道協会補助金	100,000	参加費	31,000
参加者負担金	325,000	昼食費	69,600
代表決定戦からの繰越	22,702	補食費・消耗品費その他	51,220
		次期遠征費用等へ繰越	95,442
合計	1,407,702	合計	1,407,702

第10回全国高校合同チームラグビーフットボール大会（上田市H26.7.31～8.4）

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
日本協会補助金	1,100,000	交通費、宿泊費	5,686,455
道体協補助金	432,000	ポロシャツ、ハーフパンツ代	356,580
協賛金	1,050,000	補食費・消耗品費その他	309,930
参加者負担金	3,491,004		
高校委員会	279,961		
合計	6,352,965	合計	6,352,965

平成26年有料試合収支決算書

慶應義塾大学 対 明治大学

平成26年6月22日

収 入			支 出			
チケット販売			会 場 使用 料 (月 寒)	札幌ボーッ振興事業団	2 日 分	312,470
			弁 当 代 、 氷 代	清 水 産 業	弁当・お茶130	108,000
ブレイガイド販売			アフターマッチファンクション	アサヒビール園	195名	757,710
メイン 2000	142	284,000	印刷費 チケット	アルファビジネス	5,200枚	49,140
バック 1500	62	93,000	印刷費 ポスター	アルファビジネス	300枚	49,350
サイド 1000	7	7,000	大丸ブレイガイド販売手数料		7%	3,710
サイド 500	2	1,000	道新ブレイガイド販売手数料		7%	1,820
小 計	213	385,000	チケットびあ販売手数料		12% + 用紙代	7,236
			ローリンチケット販売手数料		10% + 用紙代	26,230
前 売			レフリー・タッチジャッジ交通費	3 試 合 1 1 名		41,300
メイン 2000	931	1,862,000	駐車場代			1,100
バック 1500	215	322,500	警備料	マーガレットサービス5名	駐 車 場 警 備	78,080
サイド 1000	1	1,000	会 場 廃棄物 収 集 料	札幌市環境事業公社		16,025
サイド 500	185	92,500	臨時売店設置使用料	札 幌 市		2,366
小 計	1,332	2,278,000	コ ピ ー F A X 代	札幌ボーッ振興事業団		2,500
			支 払 手 数 料	振 込 み 手 数 料		1,134
当日窓口販売			消 耗 品 費	氷 代 他		2,731
メイン 2000	115	230,000	ボ 一 ル 代	マジックオーバル他		29,160
バック 1500	78	117,000	アナウンサー謝礼			10,000
サイド 1000	34	34,000	カメラマン謝礼			10,000
サイド 0500	19	9,500				
小 計	246	390,500				
			小 計			1,510,062
チケット販売合計	1,791	3,053,500				
			両 校 旅 費 、 宿 泊 費	近畿日本ツーリスト		3,164,120
ファンクション	110	440,000	両 校 旅 行 保 険 代	近畿日本ツーリスト		32,000
			慶 應 義 塾 追 加 交 通 費			19,070
売店売上手数料	清水産業	10,000	両校チーム付経費(補食費)	清 水 产 業	おにぎり、バナナ他	17,879
			小 計			3,233,069
			合 计			4,743,131
			利 益			▲1,239,631
総合計		3,503,500	總 合 计			3,503,500

平成26年トップリーグ収支決算書

平成26年8月31日実施分

収 入			支 出		
前売券委託販売			前 売 券 清 算		
中央席 2100	294	617,400	販 売 額 全 額		1,014,300
中央席子供 1050		0			
自由席一般 1350	294	396,900	当 日 券 清 算		
		0	販 売 額 全 額		310,100
過 不 足 金 額					
小 計	588	1,014,300	オフィシャルファンブック清算		
			一 冊 900	10	9,000
招 待 券 2000	20	40,000			
そ の 他		19,000			
当 日 販 売					
中央席 2600	54	140,400			
自由席一般 1600	102	163,200	事 務 経 費		
自由席小中高校 500	13	6,500	レフリー電池代		1,194
			レフリー水代		2,284
過 不 足 金 額		▲ 500	レフリー宿泊料		17,400
小 計	169	309,600	駐 車 場 代		2,680
			コピーデ・FAX代		1,430
オフィシャルファンブック販売			売店出店手数料		2,366
一 冊 1000	10	10,000	振 込 手 数 料		486
過 不 足 金 額					
小 計		10,000			
			中 計		1,361,240
売店出店手数料					
清 水 産 業		10,000			
			利 益		544,520
小 計		10,000			
業 務 委 託 費		300,000			
前 売 券 販 売 戻 し	20%	202,860			
合 计		1,905,760	合 计		1,905,760

注) 日本協会負担トップリーグ経費(仮払金で支出分)は別添精算

平成26年度北海道ラグビーフェスティバル収支報告書

平成26年7月5日

収 入		支 出			
北海道協会負担金	203,568	会場使用料（月寒競技場）	札幌ループ振興事業団		73,800
		綿あめ、ヨーヨー、ホップコーン	清水産業		30,240
		子供用おやつ(プレゼント)	清水産業	110個	29,700
		スタッフ弁当代(25個)	清水産業		21,600
		臨時売店設置使用料	札幌市市民局		1,397
		氷 代	清水産業		3,240
		レフリー交通費補助	12名		12,000
		レフリー宿泊費	1名		5,180
		女子セブンス交通費補助	上磯バンビ乗用車3台		24,000
		支 払 手 数 料	振込み手数料		486
		ごみ収集費用	札幌市環境事業公社		1,925
総合計	203,568	合 計			203,568

会計監査報告書

北海道ラグビーフットボール協会 平成 26 年度の収支決算について、平成 27 年 4 月 5 日、会計担当理事ならびに理事長、副理事長の立会いのもとに会計監査を実施しましたので、次のとおり報告します。

1. 監査方法の概要

会計監査にあたり、帳簿と領収書綴り、各事業計画書および収支予算書と各事業報告書および収支決算書、ならびに預貯金通帳等をそれぞれ照合し、必要に応じて立会い理事に説明を求めて調査致しました。

2. 監査結果

会計帳簿の記載は正確で、関係書類ならびに会計処理内容は全て適正であり、平成 26 年度収支決算書に相違がないことを認めます。

平成 27 年 4 月 5 日

会計監事

山之内 裕昭



会計監事

長谷部 直樹

